

シラバス

専攻科
母子看護学専攻

2026年度



埼玉医科大学短期大学

学籍番号	
氏名	

はじめに

短期大学における専攻科は、短期大学の教育の上に精選した専門領域を教授し、その研究を指導することを目的とし、修業年限を1年以上とすることが、学校教育法により規定されています。

皆さんは、それぞれに明確な目的を持って入学されたと思います。自分の目的を達成できるよう勉学に励むことはもちろんですが、教育理念を理解し、教育目的、教育目標を達成できるよう、持てる力を精一杯出し切っていただきたいと思います。

本学の建学の精神に「師弟同行」という言葉があります。この言葉が表すように、教員は常に学生と共に学問の道を歩む姿勢でいます。母子看護専門職としての自己を観つめ、友と語り、教師であると同時に先輩であり、身近な相談者でもある教員とともに学んでいきましょう。

このシラバスには教育目標を達成するために、どのようなことをどのような方法で学んでいくかが具体的に記されています。短時間に多くの知識・技術を修得するために精読し、カリキュラムの全体像をイメージし、学習の指針としていただきたいと思います。

1年間、皆さんが豊かな人間性と専門的な能力を発揮して、広く社会に貢献するという目標を持ち、学生としての真摯な気持ちで、母子看護専門職としての学習を深められることを期待しています。

2026年4月

専攻科教員一同

専攻科の 教育理念・教育目的・教育目標・三つの方針

1. 教育理念

埼玉医科大学短期大学の教育の基本姿勢は、一般社会人としての幅広く豊かな教養と良識を持ち、生命に対する深い畏敬の念と人類愛を持って、積極的に社会に貢献できる人材を育成することである。母子看護学専攻の教育は医療全般にわたる広範な視野と高い見識を持ち、急速かつ多様に変化しつつある社会状況を的確にとらえ、対象者および家族・地域に対して母子看護専門職としての社会的役割を担う人材を育成することである。

さらに、本学は高度周産期医療機関であり地域医療の中核的役割を担っている埼玉医科大学病院に併設しているため、高い専門性を活かし専門的指導的役割を果たせる人材を育成しなければならない。以上の観点から教育目的・目標を次のように設定している。

2. 教育目的

看護基礎教育を基盤として、母子看護学に関する教育研究活動を通し、専門的知識と技術を深く身に付け、社会に貢献できる助産師を養成する。

3. 教育目標

1. 広範な視野と高い見識を持った社会人になる。
2. 多様に変化する社会状況及び価値観を的確にとらえ、高い専門性と指導的役割を担い生涯に亘って社会に貢献できる母子看護専門職業人になる。
3. 母子看護専門職として周産期医療の水準・向上に貢献できる人となる。

4. 三つの方針

【ディプロマポリシー】

専攻科の課程を修め、教育目的である全ての女性および周産期にある母子とその家族に対して健康を支援し、地域母子医療・保健の向上に寄与できる能力を身につけ、授業科目区分毎の所定の単位を修得し、且つ修了要件の 32 単位以上を修得した学生には、専攻科の修了を認定する。修了を認定された者は、助産師国家試験受験資格を得ることができる。

〔学修成果〕

【知識・技能】

1. 女性の一生と家族の健康を理解できる
2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる

【思考力・判断力・表現力】

3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる

【主体性・協働性】

4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる
5. 助産実践者として自己研鑽できる
6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる
7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる

※学修成果〔短期大学と専攻科〕(表1) iv ページ、学修成果のルーブリック評価表〔専攻科〕(表2) を v ページ、〔専攻科〕教育課程と学修成果との対比表(表3) vi ページに示す。

【カリキュラムポリシー】

女性と子どもの健康的な生活を支援するための基本理念と知識、周産期にある母子と家族のケアに必要な助産診断と実践のための基礎的能力を修得し、地域社会に貢献できる助産師を養成するために、教育区分ごとの教育目的を示す。

1. 基礎助産学：女性と子どもの健康を支える基本理念と知識・技術を養う。
2. 助産診断技術学：助産学領域における専門的な実践能力を養う。
3. 地域母子保健：地域の特性を知り、助産師として多職種と協働できる能力・態度を養う。
4. 助産管理：助産管理者として必要な基礎的知識と能力を養う。
5. 助産学実習：知識を統合し、ウェルネスもしくは問題解決の視点で助産過程を展開できる能力を養う。

※専攻科カリキュラムマップ（表4）viiページ、専攻科の科目進度（表5）viiiページに示す。

専攻科の学修成果を修得できるように下記に示す教育内容と教育方法を実施し、学修成果の評価を行う。

1. 教育内容

- 1) 1年間で32単位以上を履修する。
- 2) 成果を修得するための教育内容は、カリキュラムマップの通りである。

2. 教育方法

- 1) 講義は、学生の主体的な学びを促進するために、双方向型教育を実践する。
- 2) 演習は、協働性・コミュニケーション能力・指導的能力を養うためにグループワーク、プレゼンテーションを取り入れた参加型授業形態を実践する。
- 3) 助産学実習は、助産師活動に触れる機会を多くもつために指導教員および臨地実習指導者と連携する。
- 4) シラバスに、修了認定の方針に基づく学習の到達目標、授業内容、評価方法、予習・復習の内容と学習時間の目安を具体的に記載する。
- 5) 授業評価アンケートを実施し、授業内容や教授方法の改善、組織全体として授業が円滑に運営されているかを検証する。

3. 学修成果の評価

- 1) 授業科目の到達目標に応じて到達基準を明確化し、その到達状況を適切に評価する。
- 2) 授業科目の学修成果は、授業内容に応じて筆記試験、レポート、実技試験、学習態度などを総合して評価する。
- 3) アセスメントテスト、学修成果ルーブリック評価表を用いた自己評価を実施し、学生・教員の双方が学修成果を確認する。

【アドミッションポリシー】

- ①人間に対する関心を持ち、生命の尊厳を重視できる人
- ②責任感と倫理観を備え、社会性を兼ね備えた人
- ③生涯学習を行い自己研鑽することができる人
- ④看護師として、基礎学力を有している人
- ⑤協調性があり、高いコミュニケーション能力を備え、多職種連携に意欲を持つ人
- ⑥保健医療分野の指導的役割を担う意欲のある人
- ⑦課題意識を持って科学的に探究し保健・医療に貢献しようとする意欲のある人

表1 学修成果〔短期大学と専攻科〕

観点	No	短期大学	専攻科
知識・技能	1	人間を総合的に理解できる	女性の一生と家族の健康を理解できる
	2	科学的な思考ができる	科学的思考を持ち総合的に判断できる
思考力・判断力・ 表現力	3	知識・技術・態度を統合して看護が 実践できる	専門的な知識・技術・態度を統合して助産・ 看護を実践できる
主体性・協働性	4	高い倫理観をもち他者の尊厳と権 利を擁護できる	生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行 動できる
	5	看護者として自己成長できる	助産実践者として自己研鑽できる
	6	社会の変化に対応できる	社会情勢の変化を的確にとらえられる
	7	自己の責任を自覚し、問題解決の ためにさまざまな人と協働できる	保健医療福祉チームの一員として多職種と連 携し協働できる

表2 埼玉医科大学短期大学 学修成果のルーブリック評価表〔専攻科〕

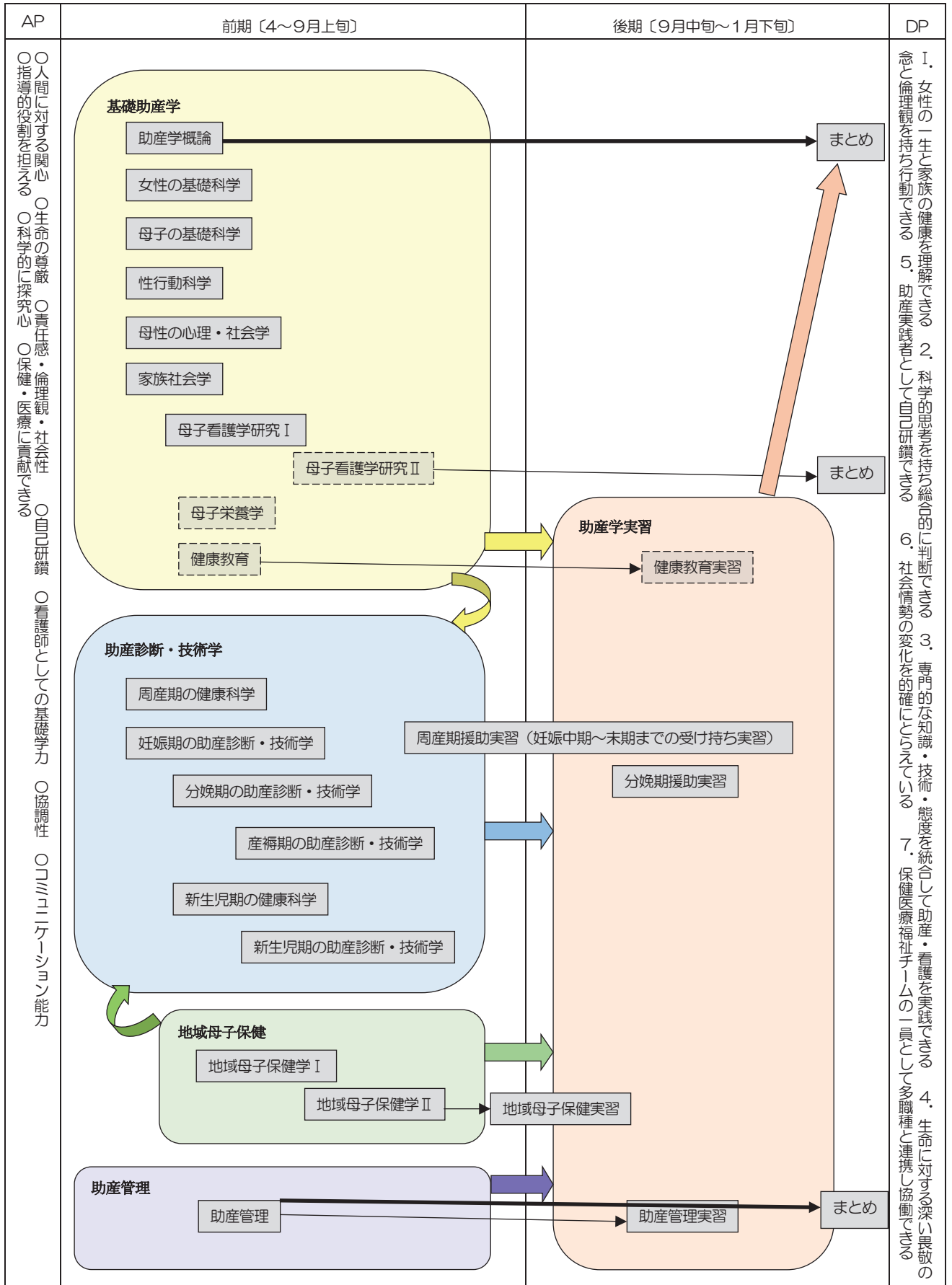
学修成果		評価基準		
1.	短期大学	Level 1 □人間は身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者であることを理解している	Level 2 □身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者として対象をとらえている	Level 3 □対象の状況を多面的・多角的にとらえている
	専攻科	□人間理解の考えを基に女性と家族を身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者として理解している	□女性と家族を身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者として部分的にとらえている	□女性と家族を身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者として総合的にとらえている
2.	短期大学	Level 1 □科学的根拠の基盤となる専門的な知識・技術の活用方法を理解している	Level 2 □科学的根拠の基盤となる専門的な知識・技術を活用している	Level 3 □科学的根拠の基盤となる専門的な知識・技術をあらゆる場面で活用している
	専攻科	□助産師に必要な知識・技術の活用方法を理解している	□助産師に必要な知識・技術を活用している	□助産師に必要な知識・技術をあらゆる場面で活用している
3.	短期大学	Level 1 □専門的知識・技術・態度を統合し、看護に活用する方法を理解している	Level 2 □専門的知識・技術・態度を統合し、必要な看護を判断している	Level 3 □対象に応じて専門的知識・技術・態度を統合して看護を実践している
	専攻科	□専門的な知識・技術・態度を統合し、健康支援する方法を理解している	□専門的な知識・技術・態度を統合し、健康支援する方法を部分的に実践している	□専門的な知識・技術・態度を統合し、健康支援する方法を実践している
4.	短期大学	Level 1 □看護者として倫理観をもって行動しようと努めている	Level 2 □看護者として倫理観をもって他者の尊厳と権利を擁護している	Level 3 □倫理的諸問題に気づき、意思決定し行動している。
	専攻科	□助産師として、生命に対して敬意を払い、権利を擁護することを理解している	□助産師として、生命に対して敬意を払い、権利を擁護している	□助産師として、生命に対して敬意を払い、権利を擁護した提案ができる
5.	短期大学	Level 1 □自己の立場や役割を自覚し、計画的に学習している	Level 2 □探求心をもって継続的に学習している	Level 3 □自己の能力を把握し、継続的に挑戦している
	専攻科	□自己の役割を自覚し、主体的に学習する必要性を理解している	□自己課題を見出し、解決に向け努力している	□自己課題を見出し、目標に向け、継続的に学習している
6.	短期大学	Level 1 □社会の出来事に対して関心を持ち、社会の変化を捉えている	Level 2 □社会における医療や看護の役割を認識している	Level 3 □社会が抱える課題を分析し、解決しようとしている
	専攻科	□変化する社会情勢を理解している	□社会情勢の変化が助産活動へ与える影響をとらえている	□社会情勢に応じた助産師活動を明確にしている
7.	短期大学	Level 1 □看護者として責務を自覚し、地域・社会に貢献する必要性を理解している	Level 2 □保健医療福祉チームの一員として、自らの役割を自覚し行動している	Level 3 □保健医療福祉チームの一員として多職種と協働し、地域・社会に貢献しようと努めている
	専攻科	□多職種と連携する必要性を理解している	□保健医療福祉チームの一員として、助産師の役割を自覚し行動している	□保健医療福祉チームの一員として、多職種と協働している

* 中間評価時（9月上旬）の目標値を太い実線で示しています

表3〔専攻科〕 教育課程と学修成果との対比表

学修成果		学修成果						
教育課程	学修成果	1	2	3	4	5	6	7
区分	授業科目	1 女性の一 生と家 族の健 康を理 解 でき る	2 科学 的思 考を 持 ち 総 合 的 に 判 断 可 能 な 	3 専 門 的 な 知 識 ・ 技 術 ・ 態 度 を 統 合 し て 助 産 ・ 看 護 を 実 践 可 能 な 	4 生 命 に 対 す る 深 い 畏 敬 の 念 と 倫 理 観 念 を 持 ち 行 動 可 能 な 	5 助 産 実 践 者 と し て 自 己 研 鑽 可 能 な 	6 社 会 情 勢 の 変 化 を 的 確 に と ら え ら れ る 	7 保 健 医 療 福 祉 チ ー ム の 一 員 と し て 多 職 種 と 連 携 し 協 働 可 能 な
基礎助産学	助産学概論	○	○		○	○	○	○
	女性の基礎科学	○	○		○		○	
	母子の基礎科学	○	○					
	性行動科学	○	○		○		○	○
	母性の心理・社会学	○	○					○
	家族社会学	○	○	○			○	○
	母子栄養学	○	○	○				○
	健康教育	○	○	○	○			○
	母子看護学研究Ⅰ		○	○	○			
	母子看護学研究Ⅱ		○	○	○	○		○
助産診断・技術学	周産期の健康科学	○	○		○			
	妊娠期の助産診断・技術学	○	○	○	○	○		
	分娩期の助産診断・技術学	○	○	○	○	○		
	産褥期の助産診断・技術学	○	○	○	○	○		
	新生児期の健康科学	○	○		○			
	新生児期の助産診断・技術学	○	○	○	○	○		
地域母子保健	地域母子保健学Ⅰ	○	○	○	○		○	○
	地域母子保健学Ⅱ	○	○	○	○		○	○
助産管理	助産管理	○				○	○	○
臨地実習 助産学実習	周産期援助実習	○	○	○	○	○	○	○
	分娩期援助実習	○	○	○	○	○	○	○
	地域母子保健実習	○		○	○	○	○	○
	助産管理実習	○		○	○	○	○	○
	健康教育実習	○	○	○	○	○	○	○

表4 専攻科カリキュラムマップ



目 次

No	科目名	担当者	コースナンバー	頁
1	助産学概論	<u>稲井洋子</u> ・岡本喜代子	9101	1
2	女性の基礎科学	<u>高井泰</u> ・五味陽亮・板谷雪子・高村将司・難波聡 高橋幸子・島田浩子	9102	4
3	母子の基礎科学	<u>亀井良政</u> ・田丸俊輔・馬場一憲	9103	6
4	性行動科学	<u>齋藤益子</u> ・斉藤章佳・虎井まさ衛	9104	8
5	母性の心理・社会学	<u>安田貴昭</u> ・菅沼真樹	9105	10
6	家族社会学	<u>吉川美華</u>	9106	12
7	母子栄養学	<u>竹下美穂</u> ・須田幸子	9107	14
8	健康教育	<u>稲井洋子</u> ・北川典子・岡部史恵・高橋紗耶香	9108	16
9	母子看護学研究Ⅰ	<u>稲井洋子</u>	9109	18
10	母子看護学研究Ⅱ	<u>稲井洋子</u>	9110	20
11	周産期の健康科学	<u>梶原健</u> ・山口哲・吉田智昭・齋藤良平・川嶋直之・ 照井克生・山口友基・高村将司	9201	22
12	妊娠期の助産診断・技術学	<u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・岡部史恵・高橋紗耶香・齋藤俊子・ 芹澤深雪	9202	25
13	分娩期の助産診断・技術学	<u>稲井洋子</u> ・ <u>北川典子</u> ・岡部史恵・高橋紗耶香・齋藤俊子・ 芹澤深雪	9203	28
14	産褥期の助産診断・技術学	<u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・阿部一子・岡部史恵・高橋紗耶香・ 齋藤俊子・芹澤深雪	9204	32
15	新生児期の健康科学	<u>側島久典</u> ・國方徹也・堀田奈緒美・加部一彦・非常勤教員	9205	35
16	新生児期の助産診断・技術学	<u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・高橋紗耶香・岡部史恵・齋藤俊子・ 芹澤深雪	9206	37
17	地域母子保健学Ⅰ	<u>小野寺 亘</u> ・井上直子	9301	40
18	地域母子保健学Ⅱ	<u>稲井洋子</u> ・加部一彦・齋藤俊子	9302	42
19	助産管理	<u>稲井洋子</u> ・武藤光代・関口 恵・坂本真紀・ 中島桂子・江森徳子	9401	45
20	周産期援助実習	<u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・岡部史恵・高橋紗耶香・芹澤深雪	9501	48
21	分娩期援助実習	<u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・岡部史恵・高橋紗耶香・芹澤深雪	9502	50
22	地域母子保健実習	<u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u>	9503	52
23	助産管理実習	<u>稲井洋子</u>	9504	54
24	健康教育実習	<u>稲井洋子</u> ・北川典子・岡部史恵・高橋紗耶香	9505	56

* 下線は科目筆頭者である

教員実務経験一覧

区分	科目名	単 位	時間	担当教員	実務経験を活かした教育内容
基礎 助産 学	助産学概論	1	15	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、助産師をめぐる動向、専門職としてのあり方について教授する。
	女性の基礎科学	1	30	医師 臨床心理士	医師、臨床心理士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、女性の健康に関する基礎的な知識について教授する。
	母子の基礎科学	1	15	医師 臨床心理士	医師、臨床心理士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、母子の健康と女性の各ライフステージ上の健康に関する基礎的な知識について教授する。
	性行動科学	1	15	助産師 社会福祉士、他	助産師、社会福祉士としての実務経験を持つ教員と性同一性障害に関する作家から、性に関する専門職としての基礎的な指導力について教授する。
	母性の心理・社会学	1	15	医師 臨床心理士	精神科学／臨床心理学を専門とした実務経験を持つ教員がその経験を活かして、精神疾患と母子の心理的援助をする為の基礎的な知識を教授する。
	家族社会学	1	15	社会学者	社会学／社会科学専門とした実務経験を持つ教員がその経験を活かして、わが国の家族の変化と家族をめぐる諸問題について教授する。
	母子栄養学	1	15	管理栄養士	管理栄養士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、母性のライフステージ、マタニティサイクルにおける栄養について教授する。
	健康教育	1	15	助産師	助産師・看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、健康教育の基礎的知識を教授する。
	母子看護学研究Ⅰ	1	15	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、研究活動を行うための基礎的な知識について教授する
	母子看護学研究Ⅱ	2	60	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、専門職としての研究的姿勢と論文作成について指導する。
助産 診断 ・ 技術 学	周産期の健康科学	1	30	医師	医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、周産期にある女性の健康に関する知識と医療技術について教授する。
	妊娠期の助産診断・技術学	2	45	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、妊娠期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
	分娩期の助産診断・技術学	3	60	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、分娩期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
	産褥期の助産診断・技術学	2	45	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、産褥期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
	新生児期の健康科学	1	30	医師 NCPR インストラクター	医師、NCPR インストラクターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、胎生期から乳児にある子どもの診断技術と援助技術について教授する。
	新生児期の助産診断・技術学	1	30	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、新生児期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
地域	地域母子保健学Ⅰ	1	15	保健師、他	保健師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、地域における母子保健活動の基礎的知識について教授する。
	地域母子保健学Ⅱ	1	15	医師 助産師	医師、助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、地域における母子保健活動の基礎的な健診知識とその実際について教授する。
管理	助産管理	2	30	助産師	管理職としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、助産業務に必要な管理とリスクマネジメントおよび助産倫理について教授する。
助産 学 実 習 ／ 臨 地 実 習	周産期援助実習	3	135	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、周産期にある対象(新生児含)の診断技術と助産実践技術について指導する。
	分娩期援助実習	6	270	助産師 医師	助産師、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、分娩期にある対象の診断技術と助産実践技術について指導する。
	地域母子保健実習	1	45	助産師 保健師	保健師、助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、地域における母子保健活動の実際について指導する。
	助産管理実習	1	45	助産師 開業助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、助産所運営とその実際について指導する。
	健康教育実習	1	45	助産師 保健師	助産師、保健師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、健康教育を受ける対象の集団指導技術について指導する。

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
助産学概論	9101	講義	通年	必修	1/15	稲井 洋子
<p>概要：助産学の基本的な概念と関連する理論を理解し、助産師の責務を遂行する為の役割や業務範囲、関連法規を理解する。また、助産師を取り巻く社会の現状と動向、母子保健の動向、助産師の倫理について理解を深める。さらに諸外国の動向を学び、助産師としてのあり方と助産診断と助産ケアの実践の基礎を学ぶ。</p>						岡本 喜代子
<p>目的：助産の基本概念を助産の変遷・文化から捉え、助産の対象、助産師の定義、倫理、職性と業務、ケア提供における助産過程の考え方について学習する。また、母子保健の変遷から助産師のあり方と将来を展望する。</p>						
<p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師の定義と業務、について理解できる。 2. 助産師活動を支える様々な理論を理解し、助産過程を展開する方法が理解できる。 3. 助産師の倫理と責務について理解できる。 4. 助産師としての生涯教育と専門性の発展について展望できる。 5. 助産の変遷と母子保健の動向について説明できる。 6. 助産師の役割を明確にし、多職種と連携する必要性を理解できる。 						
<p>修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
<p>成績評価方法： 1. 定期試験（筆記試験）(90%) 2. 学習態度 (10%)</p> <p>成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。</p>						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/8 (水)	母子保健の動向(1) 助産師の倫理	<p>1. 性と生殖および母子を取り巻く社会の変化について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) わが国の母子保健の動向、助産の変遷と助産師教育 2) 助産師の倫理 3) 助産師としての責務 <p>①助産の意義と助産の定義 ②日本助産師会、ICM（国際助産師連盟）、WHO（世界保健機関）の助産師の定義、役割</p> <p>③母子とその家族および女性のもつ価値観や社会的背景の多様性の理解</p> <p>教科書(4)第1章,第5章,第4章,第2章 【課題1】教科書(1)</p>			稲井

2	4/8 (水)	助産師活動を 支える基礎(1)	1. 助産師のケアの基盤となる概念 セルフケア理論、アタッチメント理論、役割理論、ルービンの母性論など 2. 助産過程と臨床推論 1) 事象の解釈・判断、対応を決定する思考プロセス 2) ウェルネスの概念と考え方 3) マタニティ診断の特徴・意義 4) 診断過程と実践過程 教科書(4)第3章, (5)第1部序章B, (6), (7)	稲井
3	4/9 (木)	助産師活動を 支える基礎(2)	2. 指導・教育活動について 1) 援助技術の基本 2) 指導案の作成の意図と手順 ①援助技術の基本、 ②個人・集団へのアプローチ方法 ③指導案の作成の意図と手順 配付資料 (本学専攻科の実習記録)	稲井
4	4/21 (火)	母子保健と 助産の変遷 (1) (2)	1. 助産と助産師制度の変遷、現在の助産制度と助産師活動の課題について 2. 母子保健の専門職としての助産師の役割について (現在および今後の社会状況を含) 教科書(4)第1章, 第5～6章, (配付資料) 【課題2】教科書(2) (3)	岡本
5	4/21 (火)			岡本
6	6/22 (月)	助産師と関係法規 および責務	1. 母子保健関係法規と諸制度について 1) 母子保健法 2) 児童福祉法 3) 保健師助産師看護師法 4) 医療法 5) その他：産科医療保障制度 等 2. 助産師としての責務 1) 助産師のコアコンピテンシー 教科書(4)第2章-符章, (8)第2章 (配付資料)	稲井
7	2027年 1/7 (木)	助産師の生涯教育と 専門性の発展	1. 生涯教育の必要性 ①助産師の歴史、法的責任 ②取り巻く現状の再認識、近年の法律改正 ③助産師の役割の再確認 ④助産師として目指すべき方向性 2. 助産学の専門性の発展 ①キャリア開発、発展の理論 ②後輩育成 教科書(4)第1章, 第5～6章, 第7章, (配付資料)	岡本
8	2027年 1/7 (木)			岡本
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①【課題1】 教科書「助産師ものがたり」を読んで、助産師としての一年間の目標について述べてください。 400字詰原稿用紙1枚〔縦用紙―横書き〕 ※ WebClassの書式見本 (Word) を参照。表紙は不要 ※ 提出用以外に、自分のポートフォリオファイルに綴じて保管すること。 提出期限； 2026年4月20日(月) 8:50 短大4階 Mail Box				

②【課題2】

下記の教科書2冊を読み感想文を提出

- a) 「助産力」日本助産師会出版会／400字詰原稿用紙1枚〔縦用紙―横書き〕
- b) 「子宮力」日本助産師会出版会／400字詰原稿用紙1枚〔縦用紙―横書き〕

※a)とb)共に表紙は不要

提出期限；2026年4月20日(月)8:50 短大4階Mail Box

③該当する部分のテキストを読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度)

④次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度)

⑤前期と後期にまたがる科目です。臨地実習の際も「助産師とは何か」「関連する法律は何か」などを常に意識し、学んで欲しいと思います。

オフィスアワー：

- (1) 授業終了後に教室で質問を受け付けます。
- (2) 授業時間外の質問は、研究室22 稲井までお越しください。

教科書：

〈課題で使用〉

- (1) 齋藤益子編：助産師ものがたり、クオリティケア、2020.
- (2) 進純郎、岡本喜代子著：助産力、日本助産師会出版会、2014.
- (3) 進純郎著：子宮力、日本助産師会出版会、2014.

〈講義で使用〉

- (4) 我部山キヨ子、安達久美子編：助産学講座1 基礎助産学[1] 助産学概論 第6版、医学書院.
- (5) 堀内成子、片岡弥恵子編：助産学講座 [5] 助産診断・技術学I 第7版、医学書院.
- (6) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断 第6版、医学書院.
- (7) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック 第7版、医学書院.

参考書：

- (1) 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論/母子保健、日本看護協会出版会. ※
- (2) 公益財団法人母子衛生研究会編：母子保健の主なる統計 令和8年刊行、母子保健事業団、2026. ※
- (3) 財団法人母子衛生研究会編：わが国の母子保健 令和3年、母子保健事業団、2021. ※
- (4) 太田操著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版、医歯薬出版、2017.
- (5) 日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン2024、日本助産師会出版、2024.
- (6) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、
日本産婦人科学会事務局、2023.
- (7) 産科医療補償制度の資料・報告書、再発防止委員会からの提言集、公益社団法人日本医療機能評価機構HP
(<http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp/documents/prevention/index.html>)
- (8) 我部山キヨ子編：助産学講座 [10] 助産管理、第6版、医学書院.
- (9) 看護行政研究会編：看護六法、令和7年度版、新日本法規出版株式会社、2025.
- (10) その他 日本助産師会、ICMのホームページ等の資料（講義時に紹介する）

※印の書籍は、国家試験対策として一読されることをお勧めします。

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
女性の基礎科学	9102	講義	前期	必修	1/30	高井 泰
概要:性と生殖に関する医療や女性の健康に影響を及ぼす疾病の病態や治療、予防について学ぶ。						五味 陽亮 板谷 雪子 高村 将司 難波 聡 高橋 幸子 島田 浩子
目的:性と生殖に関する医療と女性の健康に影響を及ぼす疾患について理解する。						
到達目標:1. 生殖に関するホルモン動態・生殖機能について説明できる。 2. 加齢と性機能について説明できる。 3. 女性の各ライフステージ上における健康課題について理解できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連: <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法: 定期試験(筆記試験)(90%)、学習態度(10%) 成績評価基準: 本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験(筆記試験)・学習態度を総合し、GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日	授業項目	内 容			担当
1	4/15(水)	女性と男性の生殖器系の構造と機能	形態と機能における男女差 生殖器の形態的特徴(内性器・外性器の構造と機能)神経と血管の構造 性機能の発達と加齢変化 教科書(1)第1章			五味
2	4/15(水)	生殖生理に関する視床下部-下垂体系機能 卵巣機能	視床下部-下垂体系の形態と機能 視床下部ホルモン、下垂体ホルモン、フィードバック機構 月経周期におけるホルモン分泌の変動、性周期の調節機構 卵巣の形態と卵巣周期、卵巣の機能と妊孕性、排卵の診断と予知、排卵誘発と抑制、卵巣機能検査 教科書(1)第1章			五味
3	4/14(火)	思春期、成熟期女性に特有な健康課題	性器の奇形・異常、初経(早発月経、遅発月経)、月経周期の異常(月経不順、稀発月経、無月経)、過多月経、過少月経、月経困難症、月経前症候群PMS、月経前気分不快障害PMDD、やせ、体重減少性無月経、神経性無食欲症、肥満、多嚢卵性卵巣症候群PCOS、ピルを用いた月経調整、人工妊娠中絶 教科書(1)第8章			板谷
4	4/14(火)	更年期・老年期に特有な健康課題	閉経・更年期障害、骨粗しょう症、脂質異常症、運動不足尿失禁、排尿障害、過活動膀胱、骨盤臓器脱、萎縮性膣炎 教科書(1)第8章			板谷
5	5/25(月)	不妊症の診断	不妊症とは、(定義と原因、エイジングと不妊症) 不妊症の検査 卵管疎通性の障害、排卵障害、子宮内膜症と不妊 乏精子症、精液検査、精子機能検査、精索静脈瘤等 教科書(1)第1章D			高村
6	5/25(月)	生殖補助医療の実際	人工授精、精子処理法、体外受精、生殖細胞凍結、卵管不妊、排卵誘発法、着床前遺伝子診断、精子の回収 生殖医療の問題点 教科書(1)第4章			高村

7	6/18(木)	不妊治療の問題点	妊娠前スクリーニングの重要性、生活習慣と不妊症、仕事との両立、経済的支援 教科書(1)第4章	高井
8	6/18(木)	生命倫理	配偶子の提供、代理母、死後生殖による妊娠、減胎手術、高年齢の妊娠、デザイナーベビー 生殖医療の今後 教科書(1)第4章	高井
9	6/15(月)	遺伝と遺伝性疾患(1)	1. 遺伝に関する基礎的内容 (ヒトの染色体の分裂や構造、遺伝形式)	難波
10	6/22(月)	遺伝と遺伝性疾患(2)	2. 代表的な染色体異常症候群の染色体異常とその症状 3. 代表的な遺伝性疾患 (常染色体優性・劣性遺伝、X連鎖優性・劣性遺伝) とその症状 教科書(1)第3章	難波
11	6/29(月)	出生前診断の方法	1. 出生前診断に関する基礎(出生前診断の概念・目的・倫理) 2. 出生前検査の方法 (絨毛検査、羊水検査、母体血清マーカー検査、胎児採血、母体血胎児染色体検査 (NIPT)、超音波画像診断、着床前遺伝学的検査 教科書(1)第3章	難波
12	5/8(金)	性感染症	性感染症の動向、病態生理、治療と支援 (総論、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、ヒト免疫不全ウイルスHIV、後天性免疫不全症候群AIDS、クラミジア感染症、淋菌、梅毒、ヒトパピローマウイルスHPV感染症、カンジタ症・トリコモナス膣炎・疥癬) 教科書(1)第7章	高橋
13	5/12(火)	生殖器別にみた疾患(1)	炎症性疾患 (尿道炎、膀胱炎、腎盂腎炎、子宮頸管炎、子宮内膜炎・筋膜炎、外陰炎、膣炎、骨盤腹膜炎) 子宮腫瘍 (子宮肉腫、子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮 ^ホ リーフ)、 卵巣腫瘍 (卵巣嚢腫、卵巣がん)、子宮内膜症、 教科書(1)第7章	高橋
14	5/22(金)	生殖器別にみた疾患(2)	生殖器系の腫瘍の動向 子宮がん、子宮頸がんの病態生理と診断方法、治療方法 定期健診・スクリーニングの必要性 (自己診断と必要性、パップスメア) 教科書(1)第9章	高橋
15	5/29(金)	生殖器別にみた疾患(3)	乳房の疾患の病態・検査・治療、 乳腺疾患の動向 乳がんの病態生理と診断方法、治療方法 スクリーニングの方法 (視触診、マンモグラフィー超音波断層法、) 教科書(1)第9章	島田
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。 ②授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。 オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。				
教科書 (1) 我部山キヨ子、武谷雄二、藤井知行編：助産学講座2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学、第6版、医学書院。				
参考書 (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期、第6版、医学書院。 (2) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期、第7版、医学書院。 (3) 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論・母子保健、日本看護協会出版会。 (4) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウイメンズヘルスケア、日本看護協会出版会。 (5) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会。 (6) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会。 (7) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会。 (8) 監修 綾部琢哉、編集 板倉敦夫・高井 泰：標準産科婦人科学 第6版、医学書院、2026。 (9) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版、メディックメディア、2018。 (10) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.10 産科 第4版、メディックメディア、2018。				

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026)年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子の基礎科学	9103	講義	前期	必修	1/15	亀井 良政
概要：母子の健康に影響をおよぼす要因を理解し、母子の健康管理について学ぶ。						田丸 俊輔
目的：母子の健康に影響をおよぼす要因について理解し、母子の健康を管理するための知識や技術・態度を養う。						馬場 一憲
到達目標：1. 免疫・母子感染・薬剤・嗜好品や社会的要因が母体におよぼす影響を説明できる。 2. 正常な発育の評価と分娩時における正常からの逸脱の早期発見について理解できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を实践できる <input type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
成績評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）、学習態度（10%）						
成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合し GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/7(火)	母子と免疫	母体の免疫学的特性(妊娠を成立させる免疫学的な機構、不育症、母子間血液型不適合妊娠) 教科書(1)第5章			田丸
2	4/7(火)	母子と薬物・嗜好品 母子と生活環境	タバコ、アルコール、依存性薬物、妊娠期に用いる薬剤 教科書(2)第3章、(6)付章2 放射線、電磁波、大気汚染、環境物質 教科書(2)第1章			田丸
3	4/14(火)	母子と感染	母子感染の機序と病態、検査、治療 風疹、クラミジア、GBS、トキソプラズマ、HBV、 HCV、ヘルペス、パルボウイルス、サイトメガロウイルス、HIV、HTLV-1、梅毒 教科書(1)第6章・第7章			田丸
4	4/14(火)		田丸			
5	4/23(木)	超音波検査(1)	超音波診断装置の基礎と装置の使い方 超音波の見方(妊娠初期・妊娠中期・末期) 胎児の発育・健康状態の評価			馬場
6	4/23(木)	超音波検査(2)	教科書(3)			馬場
7	6/4(木)	分娩監視装置(1)	分娩監視装置の基礎と使い方、CTGの読み方 CTGによる胎児診断、NST 胎児の健康状態の評価			馬場
8	6/4(木)	分娩監視装置(2)	教科書(4)			馬場
履修者へのコメント：						
(1)履修条件なし						
(2)履修にあたっての心構えと要望						
① 概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。						
② 授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。						
③第5回～第8回講義は、全て埼玉医科大学川越クリニック6階で行う。						

オフィスアワー：

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二、藤井知行編：助産学講座2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学、第6版、医学書院
- (2) 我部山キヨ子編：助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学、第6版、医学書院
- (3) 馬場一憲編：目でみる妊娠と出産、文光堂、2013.
- (4) 馬場一憲、松田義雄著：CTGモニタリングテキスト改訂版、東京医学社、2018.

参考書：

- (1) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会.
- (2) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会.
- (3) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児のケア、日本看護協会出版会.
- (4) 伊藤 真也、村島 温子編：薬物治療コンサルテーション 妊娠と授乳 改訂第3版、南山堂、2020.
- (5) 木下勝之、馬場一憲指導：ビデオ「正しい超音波診断のために」、メジカルビュー社
- (5) 馬場一憲、市塚清健編：正常がわかる胎児超音波検査、文光堂、2016.
- (6) 馬場 一憲、市塚 清健編：超音波胎児形態異常スクリーニングー産婦人科医・助産師・臨床検査技師のために 文光堂、2015.
- (7) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.10 産科 第4版、メディックメディア、2018.

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
性行動科学	9104	講義	前期	必修	1/15	齋藤 益子 齊藤 章佳 虎井まさ衛
概要：人間にとっての性は、「生殖」を自らコントロールしながらふれあいの喜びを分かち合うことにある。そのことをベースにして、両性とマイノリティーの性について深く学び、安心と安全のための性行動への選択力と指導する力を身に付ける。						
目的：現在社会に於ける性情報が乱れ、青少年の生き方や行動に大きく影響している。本科目を学ぶことで、性の在り方について深く考え、情報に流されず納得できる自分の性行動を確立するための基礎的態度を身に付け、性に関する専門職として性教育ができる力を身につける。						
到達目標：助産師として性の健康教育を行う立場から、女性・男性・子どもたちがそれぞれにしあわせな人生を歩むための適切な助言ができ、多様な性を理解し、性行動に伴う諸問題を認識して、それぞれの性のあり様について支援できる力を身に付ける。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法： 1. レポート課題 50% ※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。 2. 授業への出席 24%、3. 学習態度・発言・参加度 26%						
成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、課題レポート・授業参加度・学習態度を総合的に評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/13 (月) 1限	性をめぐる基礎理解	両性の対等・平等性がすすむ中で、性のあり方・意味がどのようになっているか。 ○レポート課題提示 教科書(1)配付資料			齋藤益子
2	4/13 (月) 2限	生物的性と性別役割 (1)	男と女はどのように分かれるか、そのメカニズムを考え、性別役割との関係をさぐる。 教科書(1)配付資料			齋藤益子
3	4/23 (木) 3限	性の分化と性別役割 (2)	差から性別役割、さらに性別役割の問題をジェンダーの視点から見つめてみる。 ○レポート課題提示 教科書(1)配付資料			齋藤益子 齊藤章佳
4	4/23 (木) 4限	性的欲求と性行動 (1)	レイプ・セクハラ・性暴力・売買春等について学び、安心と安全の関係をさぐる。 教科書(1)配付資料			齋藤益子 齊藤章佳
5	4/30 (木) 3限	性の普遍性・多様性(1)	マイノリティーの性について学び、性的マイノリティーとは何かを考える。 ○レポート課題提示 教科書(1)配付資料			齋藤益子 虎井まさ衛
6	4/30 (木) 4限	性の普遍性・多様性(2)	性同一性障害当事者の話を聞き、LGBTへの理解を深める 教科書(1)配付資料			齋藤益子 虎井まさ衛
7	5/14 (木) 3限	性的欲求と性行動 (2)	性的欲求と性行動に伴う諸問題について考える。 性感染症とその予防教育を考える。 ○レポート課題提示 教科書(1)配付資料			齋藤益子

8	5/14 (木) 4限	性愛のゆくえ 「人間と性」まとめ	エロス、共生、結婚、家族とは何かを考える。 助産師としてのこれからの課題を考える。 相談・教育活動 他 教科書(2)(3)第2章、配付資料	齋藤益子
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①授業を受け、自分の考えを持ち、それをお互いに交流することに積極的に参加する。 ②授業は教授型に偏らず、意見感想等の積極的交流してすすめる。 ③提出された課題については授業内外において返却・解説を行う。 ④授業に際しテキストを読むこと。予習30分以上、復習30分以上の授業外学習を行うこと。 ⑤レポート課題は、第1回、第3回、第5回、第7回の講義内で提示する。 ⑥この講義は、全て埼玉医科大学川越クリニック6階で行う。				
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付ける。				
教科書： (1) 齋藤益子・木村好秀・古賀文敏：家族計画指導の理論と実際 第3版、医学書院、2025。 (2) 齋藤益子編：助産師ものがたり、クオリティケア、2020。 (3) 堀内成子、片岡弥恵子編：助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ、第7版、医学書院				
参考書： (1) 性の健康医学財団、齋藤益子編：性の健康と相談のためのガイドブック 中央法規、2014 (2) 杉田聡著：AV 神話 アダルトビデオをまねてはいけない、大月書店、2008。 (3) 狛潤一・佐藤明子・水野哲夫・村瀬幸治（共著）：改訂新設『ヒューマン・セクソロジー』（子どもの未来社）2020。 (4) 野宮 亜紀/針間 克己/大島 俊之/原科 孝雄/虎井 まさ衛（他著）：プロブレムQ&A性同一性障害って何？一人一人の性のありようを大切にするために、緑風出版、2011。 (5) 監修 日本性科学会 川井弘光：改訂第2版 セックス・カウンセリング「入門」、金原出版株式会社、2015。				

授業科目の区分		基礎助産学				R8(2026)年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母性の心理・社会学	9105	講義	前期	必修	1/15	安田 貴昭
概要：周産期にある対象のメンタルヘルスの現状を理解し、病態生理とその治療方法について学習する。また、スクリーニングの方法、治療、面接技法の基礎的知識と実際について学ぶ。						菅沼 真樹
目的：1. 周産期のメンタルヘルスの現状と課題を理解する。 2. 周産期のスクリーニング方法、疾患と障害、治療方法について理解する。 3. 周産期にある対象への面接技法の基礎的知識とスキルを深める。						
到達目標：周産期のメンタルヘルスについて理解ができる。 助産師として、周産期にある対象の心理的援助方法や支援の方法が理解できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を实践できる <input type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：1. 定期試験（学科試験）（90%）、2. 学習態度（10%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（学科試験）・学習態度を総合的に評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	5/19 (火)	周産期メンタルヘルスの現状と重要性	1. 妊産婦のメンタルヘルスの現状、 2. 妊産婦の自殺、「産後うつ」と育児支援の必要性 教科書(1)(2) 配付資料			安田
2	5/28 (木)	妊産婦のスクリーニングとアセスメント、医療連携	1. 3つの質問票の使い方 (育児支援チェックリスト、EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票) 2. アセスメントと介入の進め方 3. メンタルヘルスに関わる多職種の連携方法 (制度、医療・保健・福祉が連携した支援体制) 教科書(1)(2) 配付資料			安田
3	5/28 (木)	周産期におけるメンタルヘルスの基礎知識	1. ボンディングと愛着形成、 2. 虐待 3. マタニティブルーと産褥精神病 教科書(1)(2) 配付資料			安田
4	6/16 (火)	疾病と障害、治療と介入①	1. 統合失調症 2. 双極性障害と産褥精神病 3. うつ病 4. 不安症（恐怖症、パニック症、全般性不安症）、強迫症 5. 知的障害、自閉症スペクトラム症（発達障害）、パーソナル障害 6. ストレスに伴う身体症状（心身症、変換症、身体症状症等） 7. PTSD 8. 摂食障害 9. てんかん 10. ボンディング形成とその障害 教科書(2) 配付資料			安田
5	6/23 (火)	疾病と障害、治療と介入②				安田
6	6/8 (月)	面接の実際 女性のメンタルヘルス①	1. 面接技法の基礎的知識 2. 女性のメンタルヘルス			菅沼
7	6/8 (月)	女性のメンタルヘルス②	1) 遺伝、不妊・不育、 ペリネイタルロスへのカウンセリングと対応の実際 教科書(1) 配付資料			菅沼

8	6/15 (月)	周産期のメンタルヘルス	1. 妊娠期から産褥期のカウンセリングと対応方法の実際 2. 他職種共同連携チームの必要性 教科書(1) 配付資料	菅沼
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2) 履修にあたっての心構えと要望 ①積極的に授業に参加してもらいたい。 ②この授業科目は、第2回と第3回の講義を埼玉医科大学川越クリニック6階で行い、第4回と第5回は本学講義室に集合してオンラインで行います。その他は本学での対面講義になります。 ③ノートを使用して予習30分以上、復習30分以上の授業外学習を行うこと。				
オフィスアワー： 質問等は授業終了後に受け付ける。				
教科書： (1) 我部山キヨ子、菅原ますみ編：助産学講座4基礎助産学[4] 母子の心理・社会学、第6版、医学書院 (2) 安田貴昭編著：周産期メンタルヘルスのためのいちばんやさしい精神医学、中外医学社、2022.				
参考書： (1) 公益社団法人日本産婦人科医会：妊産婦メンタルヘルスケアマニュアル ～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～、中外医学社、2021. (2) 吉田敬子、山下洋、鈴宮寛子監修：妊娠中から始めるメンタルヘルスケア ～多職種で使う3つの質問票～、日本評論社、2017.				

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
家族社会学	9106	講義	前期	必修	1/15	吉川 美華
<p>概要：近年の家族を形成する結婚や親子のあり方は、複雑かつ多様化している。婚姻率の低下と少子化が連動する我が国の近代から続く家族観は社会に多くのひずみをもたらしている。今考えるべきは理念と現実のズレを縮小するためには何が必要かであろう。離婚や再婚は夫婦の選択としてすでに日常に溶け込んでいるが、こどもの意向や法的地位は守られているだろうか。望まない妊娠は女性だけの責任だろうか。第三者の提供配偶子で誕生した子の親とは誰の事だろうか。名門中学に入るために小学生2年生の子どもを塾に通わせ、問題が解けないと罰を与える母親は教育熱心なのだろうか。法は家族や子供やわたしの味方だろうか。本講義はテキストの第2章を取り込みつつ、第3章から第5章までの内容を、事例を挙げつつ現実に起きている社会の問題の解決のために、現在の制度や支援では何が足りないかを考えることを軸に進めていく。</p>						
<p>目的：家族を取り巻く制度、社会、当事者の意識といったそれぞれの変化の過程と問題点を俯瞰する思考を養う。すべての制度や現象には正負の両面性（例えば再婚期間の見直しは子どもの無戸籍問題の減少が見込まれるが、子供が正当な婚姻関係のもと誕生すべきという従来からの思想を助長しないか？というような）や変化がある一方で「変わらない何か」があることを常に意識し、バランスのとれた考え方を導き出す力を養う。</p>						
<p>到達目標：家族への理解と生き方の多様性の理解をベースになるべく多く、現場で生じ得る問題に接し、助産師として対象者を制度や行政支援に円滑に連携の手助けができるよう、また未曾有の問題にも対応できるよう思考力を養う。</p>						
<p>修了認定・ディプロマポリシー〔学習成果〕との関連：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
<p>成績評価方法：定期試験（筆記試験）（70%） 発表・ワークショップ（25%）リアクションカードの提出（5%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・発表の貢献度および提出物を総合的に判断する。</p>						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/10 (金) 3限	家族と社会(1)	家族の機能と役割 家族の変化—近代家族から現代家族へ テキスト 第3章A.B、配付資料			吉川
2	4/17 (金) 3限	家族と社会(2)	多様化するライフコースと家族 家族とケアのゆくえ テキスト 第3章C.D、配付資料			吉川
3	4/24 (金) 3限	家族と社会(3)	家族と法 戦後日本の家族法の歴史 現行家族法の基本的ルールと問題点 テキスト 第3章E、配付資料			吉川
4	5/1 (金) 3限	家族と社会(4)	生殖医療と法 概要を講義後に各自収集した事例でワークショップ テキスト 第3章E、配布資料			吉川

5	5/8 (金) 3限	母親・父親と社会(1)	母親と社会 概要を講義後に発表 テキスト 第2章C,第4章A、配付資料	吉川
6	5/15 (金) 3限	母親・父親と社会(2)	父親と社会 現代社会における多様な「親」のあり方/ 概要を講義後に発表 テキスト 第2章B,第4章B.C、配付資料	吉川
7	5/22 (金) 3限	子供と社会(1)	社会の中の子ども 概要を講義後に発表 テキスト 第2章D,第5章A、配付資料	吉川
8	5/29 (金) 3限	子供と社会(2)	現代日本の子ども 概要を講義後に発表。 テキスト 第2章A,第5章B、配付資料	吉川

履修者へのコメント：

(1)履修条件なし

(2)履修にあたっての心構えと要望

①テキストのテーマに沿った実生活にも役立つ副教材を提示します。関心のある内容については時間内にどんどん発言してください。

②第4回から第8回までは受講者の発表も含めて進行します。それぞれ担当を事前に決めますので報告者は事前に準備をしてください。報告者以外はテキストを読んでいない可能性も加味して、読んでいない人も読んだ気になれる発表を心掛けてください。発表時間は内容説明と考察で40分程度、20分は他の受講者からの質問に答えます。報告担当でない受講者にはコメントを提出してもらいます。

③質問はためらわないでください。

オフィスアワー：質問は授業中、授業終了後、およびメールにて受け付ける。アドレス：mika-yoshi@mvc.biglobe.ne.jp
件名には必ず「埼玉医大家族社会学〇〇〇〇（名前）」を付してください。

テキスト：

(1) 我部山キヨ子・菅原ますみ編集：助産学講座4基礎助産学〔4〕母子の心理・社会学、第6版：医学書院。

参考書：（みなさんの関心に沿えるようになるべく実例が記された近年出版のものを選んでいきます）

(1) 前田正子・安藤道人『母の壁 子育てを追いつめる重荷の正体』岩波書店、2023

(2) 澁谷智子『ヤングケアラーって何だろう』筑摩書房、2022

(3) 吉川ばんび『機能不全家庭で死にかけた私が生還するまで』晶文社、2023

(4) 元森絵里子ほか『多様な子供の近代 稼ぐ・貰われる・消費する年少者たち』青弓社、2021

(5) 岡野八代『ケアの倫理——フェミニズムの政治思想』岩波書店、2024

(6) 小西一禎『妻に稼がれる夫のジレンマ—共働き夫婦の性別役割意識をめぐって』ちくま新書、2024

(7) 品田知美ほか『離れていても家族』亜紀書房、2023

(8) 本多真隆：「家庭」の誕生—理想と現実の歴史を追う』筑摩書房（ちくま新書1760）、2023。

(9) 森本修代『赤ちゃんポストの真実』中公文庫、2023

(10) 大塚ひかり『ひとりみの日本史』左右社、2024

(11) 鬼頭宏『人口から読む日本の歴史』講談社、2000（第4章以降）

(12) 近藤絢子『就職氷河期世代 データで読み解く所得・家族形成・格差』中央公論新社、2024

(10) 本澤 巳代子ほか編集『みんなの家族法入門【第2版】』信山社、2024

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子栄養学	9107	講義	前期	選択	1/15	須田 幸子 竹下 美穂
概要：母子を取り巻く社会情勢を理解し、女性のライフステージ、およびマタニティサイクルにおける栄養について理解し各期の食生活と乳幼児の食育も含めた具体的な知識と指導技術を学ぶ。						
目的：母子の栄養についての知識を育み専門職として活躍する力を身につける。						
到達目標：1. 妊娠による母体の変化と胎児の成長に伴う栄養、食生活の留意点を理解する。 2. 妊産婦、乳幼児の栄養と食生活を理解する。 3. 日本人の食事摂取基準を理解する。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連：						
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：1. 課題レポート (80%) ※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。2. 学習態度 (20%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、課題レポート、学習態度を総合し、GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	5/21(木)	食事と栄養について (1)	わが国の栄養・食生活の現状、食生活をとり巻く諸問題を考える。日本人の食事摂取基準、食生活指針等			須田
2	6/11(木)	食事と栄養について (2)	栄養に関する基礎を学ぶ。 ①栄養素とその働き ②代謝			須田
3	6/18 (木)	食事と栄養について (3)	栄養アセスメントについて学ぶ。 ①栄養評価 ②栄養指導 ③エネルギー不足			須田
4	6/18 (木)	妊娠期・授乳期の栄養	妊娠期・授乳期に必要な栄養と、栄養アセスメントについて学ぶ。			竹下
5	6/25 (木)	妊産婦の病態栄養	妊産婦の病態栄養と、栄養アセスメントについて学ぶ。 ①貧血 ②妊娠高血圧症候群 ③妊娠糖尿病			竹下
6	7/2 (木)	乳児期・幼児期の栄養	乳児期・幼児期の栄養と、栄養アセスメント、母子に関する栄養行政について学ぶ。 ① 先天性代謝異常 ②体調不良 ③食物アレルギー			竹下
7	7/9 (木)	思春期・更年期の栄養	思春期・更年期の栄養と、栄養アセスメントについて学ぶ。 ①成長期の貧血 ②摂食障害 ③更年期代謝障害			須田
8	7/9 (木)	献立作成の実際	献立を作成する際のポイントについて学ぶ。 【課題レポート】			竹下
履修者へのコメント：						
(1)履修条件なし						
(2)履修にあたっての心構えと要望						
① 提出された課題については授業内外において返却・解説を行う。						
② 予習：授業前に教科書、配付資料を読むこと。						
③ 予習 30 分以上、復習 30 分以上の授業外学習を行うこと。						
(3)課題レポート：※ 講義開始時に詳細を提示する。						

オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子編：助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学、第6版、医学書院.
- (2) 香川明夫監修：八訂食品成分表、女子栄養大学出版社、2026.

参考書：

開講時提示

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
健康教育	9108	講義	前期	選択	1/15	稲井 洋子
<p>概要：ヘルスプロモーションの理念を基に健康教育の意義・展開のための理論と技法を学ぶ。健康教育の理論を活用し、女性およびその家族を対象とした健康教育の展開方法を理解する。さらに、健康教育の目的や方法について企画・運営を学ぶ。</p>						北川 典子 岡部 史恵
<p>目的：1. ヘルスプロモーションの理念、健康教育の意義・展開のための理論と技法を理解する。 2. 健康教育のための指導計画の立案方法、効果的な指導方法、評価方法を学ぶ。</p>						高橋 紗耶香
<p>到達目標：1. 女性のライフステージに対応した健康教育の意義が説明できる。 2. 健康教育に用いられる理論を説明できる。 3. 健康教育を展開する上での様々な教育方法について説明できる。 4. 健康教育（集団指導）の企画・運営ができる。 1) 対象の把握と分析ができる。 2) テーマに沿った目標を設定することができる。 3) 目標達成のための指導項目・内容の抽出ができる。 4) 目標達成のための実施方法が検討できる。 5) 指導案と媒体の作成ができる。 6) 実践した集団指導の評価ができる。</p>						
<p>修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
<p>成績評価方法： 学科試験（50%）、健康教育の企画・実際の成果と参加度（40%）、学習態度（10%） 成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、学科試験と健康教育企画・実際の成果、評価までの学習態度を総合し、GPA 実施規則に則り評価する。</p>						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	5/8 (金)	健康教育の理念と教育技術	1. 健康教育とは 2. 健康教育の理論 3. 健康教育における教育技術 1) 個人へのアプローチ 2) 集団へのアプローチ 4. 健康教育の実際 1) 健康教育のための情報収集 2) 健康教育の展開方法と評価			稲井
2	5/20 (水)	健康教育の企画 企画書作成①	集団指導のための対象の把握と分析 集団指導のテーマに沿った目標の明確化【グループ学習】			稲井・北川 岡部・高橋
3	5/27 (水)	健康教育の企画 企画書作成②	目標達成のための指導項目・内容の検討【グループ学習】			北川・稲井 岡部・高橋
4	6/3 (水)	健康教育の企画 企画書作成③	目標達成のための指導項目・内容の検討【グループ学習】			北川・稲井 岡部・高橋

5	6/15(月)	健康教育の企画 企画書作成④	目標達成のための実施方法の検討 プログラム構成の検討 【グループ学習】	北川・稲井 岡部・高橋
6	7/10(金)	健康教育の企画 企画書作成⑤	指導案（導入・展開・まとめ）の作成 媒体の検討 評価の方法 【グループ学習】	北川・稲井 岡部・高橋
7	7/13(月)	健康教育の実際 ～模擬指導～ 健康教育のまとめ	1. グループ発表 2. 意見交換・評価 【グループ学習】	稲井・北川 岡部・高橋
8	7/13(月)			

履修者へのコメント：

(1)履修条件 特になし

＜注意＞単位が修得できなかった場合は、「健康教育実習」履修をすることはできません。

(2)履修にあたっての心構えと要望および課題

①教科書(1)を読み、授業に臨んでください。(30分～60分程度 他グループで検討を要する時間あり)

②テーマごとに2～3人のグループに分かれて学習します。各テーマにおける指導内容(目標、内容抽出、指導方法の検討、評価方法の検討など)に重点を置いた授業となります。各回の授業では、グループ検討した資料に基づき、教員からアドバイスを貰いディスカッションを行います。各自がテーマに沿った学習を事前学習した上で臨んで下さい。

③学内発表では、実際に指導媒体を使用して健康教育をします。発表に間に合うように準備して臨んで下さい。発表を通して様々な集団指導について理解を深めます。

④各グループ発表の資料は、WebClassで共有します。今後の実習でも貴重な資料になることを理解し整理しておきましょう。

オフィスアワー：

(1)講義：授業終了後に教室で質問を受け付けます。

(2)企画・運営について：授業時間外の質問は、グループ担当教員研究室6までお越しください。

教科書

(1)堀内成子、片岡弥恵子編：助産学講座5 助産診断・技術学I 第7版、医学書院。

参考書

随時提示する。

1 授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子看護学研究Ⅰ	9109	講義	通年	必修	1/15	稲井 洋子
概要：看護研究はケアの質の向上と新たな知見の体系化および看護の専門性の確立のために必要な領域である。母子看護学研究Ⅰでは、研究の目的・方法・手順を概観する。また、文献検索や論文の書き方、研究成果を発表する際のプレゼンテーションについて学ぶ。						
目的：研究を行うための基礎的な知識・技術・態度を修得する。						
到達目標：1. 研究の意義と倫理的配慮について説明できる。 2. 研究過程と研究の概要を説明できる。 3. 論文の構成要素と具体的な書き方がわかる。 4. 助産学に関連する学会に参加し知見を広げることができる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：1. 課題レポート(80%) ※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。 2. 学習態度(20%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、課題レポート・学習態度を総合し、GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日	授業項目	内 容			担当者
1	4/21(火)	研究における法規範と倫理	1. 研究とは看護研究とは何か 2. 看護における研究の意義 3. 看護研究を行う際の倫理的配慮について 1) 医療分野における倫理規制 2) 看護研究における倫理的配慮 教科書(1)、配付資料			稲井
2	5/12(火)	助産学研究の探求 研究過程の概要 研究の方法	1. 研究過程の概要 2. 研究方法について 1) 研究テーマの探索方法 2) 先行研究 3) 研究の枠組み 4) 研究デザインと分析方法 5) 研究計画書の作成 教科書(1)、配付資料			稲井
3	5/27(水)	助産学研究の実際 論文の構成要素 プレゼンテーション	1. 論文の主な構成要素 2. 論文作成にあたってのポイント 3. プレゼンテーションの意義、方法、評価 教科書 配付資料			稲井
4	6/2(火)	助産学研究の実際 文献検討	1. 文献検討(クリティーク)の視点と目的 教科書 配付資料 2. クリティークの方法 原著論文1編をクリティークする 【演習/課題1】			稲井

5	7/5 (日)	研究発表の実際と運営	1. 研究の発表の実際 1) 研究発表の見学 2) 学会の運営の観察 3) 意見交換と課題の明確化	稲井
6				
7				
8				

【演習／課題2】

履修者へのコメント：

(1) 履修条件なし

(2) 履修にあたっての心構えと要望

- ① 看護学生時代の文献や資料、該当する部分の教科書部分を読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度)
- ② 次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度)

(3) 【課題1】各自で関心のある原著論文を用いてクリティークして下さい。

- ① 指定された学会誌から関心のある原著論文を1編コピーしておく。
- ② 授業で配布するクリティーク用紙〔簡易〕にクリティークする。
- ③ クリティーク用紙、使用した原著論文1編(左上1箇所をまとめてホチキス止めする)

提出期限：2026年 月 日 () 8:50 短大4階 Mail Box〔講義時に周知〕

(4) 【課題2】授業の一環として学会や研究発表会へ参加し、課題レポートを作成します。

- ① 趣旨：助産に関する学会等へ出席し研究発表の実際に触れ学びを深める。
- ② 内容：学会の詳細なプログラムが発表され次第、別紙で連絡します。

課題；別途配布 感染症の状況等により参加方法を Web参加 と変更する場合があります。

提出期限：2026年 月 日 () 8:50 WebClass へ提出〔講義時に周知〕

《参考》「母子看護学研究Ⅱ」(選択科目)を履修する学生は、論文を作成・発表する際の参考としてください。

オフィスアワー：

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

(1) 我部山キヨ子、安達久美子編：助産学講座1 基礎助産学 [1] 助産学概論 第6版、医学書院。

*必要時に別途指定する

参考図書：

- (1) 山崎茂明著：文献検索ガイド、第4版[増補版]、日本看護協会出版会、2010.
- (2) 桂敏樹、星野明子編：かんたん看護研究 改訂第2版、南江堂、2020.
- (3) 山本あい子編：助産師基礎教育テキスト、第1巻 助産概論・母子保健、日本看護協会出版会。

授業科目の区分		基礎助産学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子看護学研究Ⅱ	9110	演習	通年	選択	2/60	稲井 洋子
概要：母子看護学研究Ⅰの基礎的知識をもとに、助産学実習で実践したケアを振り返り、看護・助産の質の向上と専門性を文献的に検証する過程を学ぶ。論文の作成過程を通じて研究的姿勢を学び、自己の研究課題を明らかにする。						
目的：文献を用いて実践したケアを検証し、論文にまとめる過程を取得できる。						
到達目標：1. 助産学実習で関わったケースを研究的にまとめ、論文を作成できる。 2. 助産学の発展に貢献する専門職として、研究的姿勢を身につけることができる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
成績評価方法： 研究論文(70%)、学習態度(30%)						
成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、研究論文・学習態度を総合し GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日	授業項目	内 容			担当者
1	5/13 (水)	オリエンテーション	母子看護学研究Ⅱの具体的な方法について			稲井
2	/	事例の選定	周産期にあるケースの選定 (実習要綱を参照)			稲井
3	/	研究計画書の作成	1. 先行研究の収集と現状の確認			稲井
4	/		2. 研究計画書(事例研究)の作成			
5	/		(9~11月)			
6	/					
7	/	研究計画書の提出と修正	1. 研究計画書(事例研究)の作成			稲井
8	/		2. 研究計画書(事例研究)の修正・再提出			
9	/		(9~11月)			
10	/					
11	/	研究指導(1)	1. 担当教員からの指導			稲井
12	/		2. 論文作成			
13	/		(10月~1月)			
14	/					
15	/	研究指導(2)	1. 論文の作成と抄録作成および修正			稲井
16	/		2. 発表原稿の作成			
17	/		(11月~1月)			
18	/					
19	/	研究指導(3)	1. 論文の作成と抄録作成および修正			稲井
20	/		2. 発表原稿の作成			
21	/		(11月~1月)			
22	/					

23	/		1. 論文の作成と抄録作成および修正	稲井
24	/	研究指導(4)	2. 発表原稿の作成	
25	/		(11月～1月)	
26	/			
27				1. 論文の作成と抄録作成および修正
28	1/27(水)	研究指導(5)	2. 発表原稿の作成	
29			3. 研究の評価	
30			(11月～1月)	

履修者へのコメント：

(1)履修条件

- ①本科目を履修する場合は「母子看護学研究Ⅰ」を履修登録すること。
- ②「母子看護学研究Ⅰ」の単位が修得できなかった場合は、履修を継続することはできません。次年度以降の履修となります。

(2)履修にあたっての心構えと要望

- ①母子看護学研究Ⅰの授業内容を復習して臨んでください。
- ②助産学実習と並行する科目であるため、履修者はスケジュール管理を綿密に行ってください。特に論文作成を行う12月下旬～1月は助産学実習の記録提出時期と重なるため、計画的に学習を進めて下さい。
- ③事例研究を行うにあたり、埼玉医科大学研究倫理委員会へ「埼玉医科大学短期大学研究倫理審査申請書」を提出し審査を受けます。「条件付き承認」、「再審査」となった場合は、担当教員よりアドバイスを受け、申請書類を修正し再度審査を受ける必要があります。また、「不承認」となった場合は、研究をすることはできません。
- ④必ずアポイントを取り、論文指導を受けて下さい。
- ⑤計画途中で変更が生じた場合は速やかに担当教員と稲井まで申し出て、研究計画書の変更もしくは研究を中止してください。

(3)論文規定 *詳細は別途提示します。

- ①原稿枚数；抄録1枚、本文9枚
- ②本文フォーマット；Wordソフトで作成(手書き原稿は受け付けない)、10.5ポイント、2段組/文字数18文字、40行
和文は明朝体で全角・英文字とアラビア数字はTimes New Roman

オフィスアワー：

個別に質問したい場合は、アポイントをお取りください。
受け持ち事例について、担当教員からの指導を受ける場合は、アポイントを取り指導時間を調整してください。
研究発表終了後に発表論文・発表方法など、今後の研究に向けての解説をします。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座1、基礎助産学[1] 助産学概論、第6版、医学書院

参考図書：

- (1) 三輪建二、わかりやすい省察的实践 実践・学び・研究をつなぐために、医学書院、2023.
- (2) 山本あい子編：助産師基礎教育テキスト、第1巻助産概論・母子保健、日本看護協会出版会.
- (3) 南裕子編：看護における研究、第2版、日本看護協会出版会、2017.
- (4) 桂敏樹、星野明子編：かんたん看護研究 改訂第2版、南江堂、2020.

授業科目の区分		助産診断・技術学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
周産期の健康科学	9201	講義	前期	必修	1/30	梶原 健
概要：助産診断の基礎となる周産期の女性の解剖・生理のメカニズムについて学ぶ。 さらに周産期の異常の早期発見と治療について学ぶ。						山口 哲 吉田 智昭 齋藤 良平 照井 克生 川嶋 直之 山口 友基 高村 将司
目的：妊娠・分娩・産褥の経過と胎児の成長・発達について学び、ローリスクからハイリスクに移行しやすい対象や医療介入の必要な対象について助産診断を行う基礎的な知識を習得する。						
到達目標：1. 女性生殖器の妊娠期・分娩期・産褥期の形態的变化や機能を説明できる。 2. 妊娠・分娩・産褥の経過と胎児の成長・発達を説明できる。 3. 周産期に医療介入を要する疾患や治療について説明できる。 4. 会陰切開、裂傷に伴う縫合について模型を用いて実施できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）(90%) 2. 学習態度(10%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合し GPA 実施規則に則り評価する						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/8(水)	妊娠経過に伴う診断	1. 妊娠の成立の確定診断、妊娠時期及び分娩予定日の診断、妊娠に伴う母体の生理的变化と健康状態の診断 マイナートラブルの発生時期・機序			山口 哲
2	4/8(水)		2. 胎児の成長・発達の診断（胎芽期から胎児期の身体的成長）、胎児の身体的機能の発達、胎児の健康状態のアセスメント 教科書(1)(4)、配付資料			山口 哲
3	4/17(金)	医療介入を要する妊婦のケア 1) 胎児発育の異常 2) 妊娠持続期間の逸脱 3) 胎児付属物の異常	発育不全、多胎、前置・低置胎盤、異所性妊娠 羊水過多・羊水過少、胎位異常、切迫流早産、流産、早産、予定日超過、過期妊娠、頸管無力症、絨毛膜羊膜炎 教科書(1)(4)、配付資料			吉田
4	4/24(金)	4) 妊娠に伴う身体的異常 5) 合併症妊娠と産科合併症	妊娠貧血、妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病 糖尿病、心疾患、腎・泌尿器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、甲状腺疾患、子宮筋腫 教科書(1)(4)、配付資料			吉田
5	4/27(月)	分娩進行に伴う診断	1. 分娩の準備 分娩の近づいた徴候、子宮頸管成熟度の判定 2. 分娩の経過 分娩の時期(分娩開始、陣痛周期、分娩各期の診断)、分娩所要時間、破水の種類と診断、内診と外診 分娩3要素 ①産道/骨産道、子宮頸管の開大の開大 ②娩出力/陣痛と腹圧、陣痛周期と陣痛持続時間、陣痛の強さの判定基準、子宮収縮の領域分化と			齋藤

6	4/27(月)		<p>伝わり方 ③胎児/分娩機転-児頭回旋、児頭の固定・進入 胎盤の剥離徴候と胎盤の娩出</p> <p>3. 分娩予測の診断 内診(DeLeeのStation)、骨盤区分と児頭最大周囲径の位置表現、パルトグラムの評価、分娩の予測時間の診断と遅延因子・促進因子、経膈分娩可否の診断</p> <p>4. 分娩進行に伴う産婦の健康状態の判断 体温、呼吸、循環器系、血液、泌尿器系、代謝 他 *モニタリングは「母子の健康科学」で講義 教科書(2)(4)、配付資料</p>	齋藤
7	5/15(金)	医療介入を要する産婦のケア(1)	<p>1. 分娩経過の異常時のケアと治療方針 ①産道/児頭骨盤不適合・狭骨盤(X線計測と適応)、子宮頸管拡張(ラミナリア、メトロイリーゼ、人工破膜)、他 ②娩出力/陣痛の異常(微弱陣痛と過強陣痛)、子宮収縮薬の使用(陣痛誘発・陣痛促進)、分娩遷延・分娩停止、他 ③胎児/前期破水・早期破水、胎位・胎勢(回旋)の異常、児頭進入異常、肩甲難産、胎児機能不全、胎児付属物の異常(臍帯下垂・脱出、癒着胎盤、羊水量の異常(羊水過多・過少)前期破水、子宮内胎児死亡(IUFD)他 教科書(2)(4)、配付資料</p>	吉田
8	4/28(火)	医療介入を要する産婦のケア(2)	<p>2. 分娩中・分娩直後の状態の異常 異常出血、産科危機的出血の処置(子宮腔内バルーン留置・タンポナーデ、輸液・輸血)、膈および外陰の血腫・産道裂傷(腔壁血腫、頸管裂傷)の処置、常位胎盤早期剥離(産科DIC)、子癇、緊急・搬送時及び産科的医療処置、帝王切開術(緊急を含む)の適応、吸引分娩・鉗子分娩 教科書(2)(4)、配付資料</p>	川嶋
9	4/28(火)	医療介入を要する産婦のケア(3)	<p>3. その他の異常 子宮破裂、子宮内反症、子宮内容除去術 多胎分娩、骨盤位分娩、GBS陽性 羊水塞栓症、肺塞栓症、肺血栓塞栓症 外回転術・内回転術、クリステレル胎児圧出法 教科書(2)(4)、配付資料</p>	川嶋
10	4/30(木)	分娩時の麻酔管理と助産ケア	<p>1. 分娩経過と産科麻酔 産痛の神経支配(分娩時痛の伝達経路) 硬膜外麻酔、脊髄くも膜下・硬膜外麻酔併用法、会陰神経ブロック</p>	照井
11	4/30(木)		<p>2. 帝王切開における麻酔 脊髄くも膜下麻酔 3. 硬膜外無痛分娩のメリット・デメリット 麻酔分娩のメカニズム・母子への影響、局所麻酔 教科書(2)(3)、配付資料</p>	照井
12	6/17(水)	産道裂傷と縫合技術	<p>会陰の切開・裂傷に伴う縫合技術 【実技演習】 教科書(2)、配付資料</p>	山口 哲 山口友基
13	6/10(水)	胎盤の生理	<p>胎盤のみかた 教科書(1)、配付資料</p>	山口 哲
14	5/18(月)	産褥経過に伴う診断	<p>産褥期の生理的变化、退行性変化、進行性変化 マイナートラブル 産科手術を受けた産婦の全身の復古と退行性変化 帝王切開後の産褥管理 教科書(2)(4)、配付資料</p>	高村

15	5/18(月)	医療介入を要する褥婦のケア	退行性変化からの逸脱（子宮復古不全、恥骨結合離開、腔壁裂傷、頸管裂傷、深部静脈血栓症、産道損傷、尿失禁）、産褥期に用いる薬剤 心疾患・腎疾患・甲状腺疾患・子宮筋腫、糖尿病合併、産後の血糖管理、乳腺炎、合併症褥婦 教科書(2)(4)、配付資料	高村
履修者へのコメント： (1)履修条件 この科目が不合格となった場合は、通年科目「周産期援助実習」を継続できません。また、後期科目「分娩期援助実習」は履修することができません。 (2)履修にあたっての心構えと要望 ①概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。 ②授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。				
オフィスアワー： 授業終了後に教室で質問を受け付けます。				
教科書： (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期、第6版、医学書院。 (2) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期、第7版、医学書院。 (3) 照井克生, 野口翔平著：硬膜外無痛分娩 安全に行うために、改訂4版、南山堂、2022。 (4) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.10 産科 第4版、メディックメディア、2018。				
参考書： (1) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト、第2巻 ウイメンズヘルスケア、日本看護協会出版会。 (2) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト、第4巻 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会。 (3) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト、第5巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会。 (4) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト、第6巻 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会。 (5) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト、第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会。 (6) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版、メディックメディア、2018。 (7) 荒木勤、鈴木俊治著：最新産科学(正常編)、第23版 文光堂、2023。 (8) 荒木勤、鈴木俊治著：最新産科学(異常編)、第23版 文光堂、2023。				

授業科目名の区分		助産診断・技術学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
妊娠期の 助産診断・技術学	9202	演習	前期	必修	2/45	北川 典子
概要：妊娠期の対象の特性・生理的特性を理解し、対象者自身がセルフケアできるよう母子やその家族への支援について学習する。また、助産師の専門的な基礎助産技術(診断技術、援助指導技術)を理解する。						稲井 洋子
目的：妊娠期の母子とその家族を統合的に捉え、助産過程の展開に必要な知識・技術・態度を養う。						岡部 史恵
到達目標：1. 妊娠期の助産診断の方法を理解し、妊婦の健康状態を正確に把握し、異常の早期発見や適切なケア支援に活かすことができる。 2. ハイリスク妊娠や異常妊娠の妊婦への助産ケアについて理解できる。 3. 妊娠期の助産過程の基本について理解できる。 4. 妊婦健康診査で基本となる助産技術を正確に実施できる。 5. 事例をもとに助産過程(診断過程、実践過程)を展開し、対象と家族へのケアを具体的に実施できる。 6. 事例に合わせた個別指導計画をもとに保健指導を実施できる。 7. 助産師の倫理綱領に基づき、妊娠期のケアが実践できる。 8. 妊娠期の助産実践の課題の明確化と、課題の解決に向けた努力ができる。						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						斎藤 俊子
成績評価方法：1. 定期試験(筆記試験)(90%) 2. 学習態度(10%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験(筆記試験)、演習、学習態度の総合点をGPA実施規則に則り評価する。						芹澤 深雪
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/9(木)	妊娠期の助産診断(1)	妊娠期の助産診断類型と診断名のつけ方 診断に必要な情報 経過診断の類型と診断名のつけ方 健康生活診断の診断類型と診断名のつけ方 教科書(1)(2)			北川
2	4/9(木)	妊娠期の助産診断(2)	妊娠期の助産診断・ 妊婦健康診査、母子健康手帳の活用方法 妊娠経過とマイナートラブル 教科書(1)(2)(5)(6)			北川
3	4/10(金)	妊娠期の助産診断(3)	妊娠初期の診断・アセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)			北川
4	4/13(月)	妊娠期の助産診断(4)	妊娠中期の診断・アセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)			北川
5	4/15(水)	妊娠期の助産診断(5)	妊娠末期の診断・アセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)			北川
6	4/20(月)	ハイリスク妊娠・異常妊娠のアセスメントとケア	妊娠経過に伴う合併症、合併症妊娠、心理社会的にハイリスクな妊婦のアセスメントとケア 教科書(1)(2)			北川

7	4/9 (木)	妊娠期の助産過程 (1)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 正常に経過する妊婦の助産過程の展開の整理 記録の整理とPP学習のオリエンテーション 演習PP 【課題①】教科書(3)(4)	北川 岡部・高橋
8	4/10 (金)	妊娠期の助産過程 (2)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 診断過程の展開(1) 妊娠経過の情報収集 分析 診断 教科書(3)(4) 【課題①/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
9	4/15 (水)	妊娠期の助産過程 (3)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 診断過程の展開(2)健康生活の情報収集 分析 診断 教科書(3)(4) 【課題②/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
10	4/16 (木)	妊娠期の助産過程 (4)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(1) 計画の立案 教科書(3)(4) 【課題③/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
11	4/16 (木)	妊娠期の助産過程 (5)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(2) 計画の立案 教科書(3)(4) 【課題③/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
12	4/17 (金)	妊娠期の助産過程 (6)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(3) 個別保健指導計画案の作成① 教材、媒体の工夫 教科書(3)(4) 【課題④/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
13	4/21 (火)	妊娠期の助産過程 (7)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(4) 個別保健指導計画案の作成② 教材、媒体の工夫・作成 教科書(3)(4) 【課題④/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
14	4/22 (水)	妊娠期の助産過程 (8)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(5) 個別保健指導計画案の作成③ 教材、媒体の工夫・作成 教科書(3)(4) 【課題④計画/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
15	4/22 (水)	妊娠期の助産過程 (9)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(5)《発表資料の作成》提出 教科書(3)(4) 【課題⑤/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
16	4/24 (金)	妊娠期の助産過程 (10)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 【課題⑤ 発表の準備 保健指導の実際 演習PP 【グループ学習】教科書(3)(4)	北川 岡部・高橋
17	4/27 (月)	妊娠期の助産過程 (11)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 【発表】 ～事例の異なる小グループに分かれて意見交換～ 1) 事例紹介 2) 妊娠経過の説明 3) 診断産過程(分析・診断・統合)の説明 4) 実践過程(目標・計画・保健指導案・媒体の説明) 5) 意見交換・評価 演習PP	北川・稲井 岡部・高橋 斎藤・芹澤
18		妊娠期の助産過程 (12)		
19	4/28 (火)	妊娠期の助産過程 (13)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 【まとめ・課題の明確化】 1) 事例毎に発表で意見交換された内容について グループで検討 【課題①～⑤修正/グループ学習】 2) 最終的な提出記録をWebClassへ提出 3) 様々な事例の助産過程展開をもとに、実習課題 を明確にする。 4) 実施と評価、妊娠期サマリー	北川

20 21	4/16 (木)	基礎助産技術 (1) (2)	妊婦健康診査に必要な助産技術の実践 胎児心音聴取、分娩監視装置、内診、クスコ診 演習 教科書(5)(6)	岡部・高橋 北川・稲井 斎藤・芹澤
22 23	4/20 (月)	基礎助産技術 (3) (4)	妊婦健康診査に必要な助産技術の実践 妊娠末期の妊婦健康診査 演習 教科書(5)(6)	岡部・高橋 北川・稲井 斎藤・芹澤

履修者へのコメント：

(1) 履修条件：

①第20～23回の技術演習には、本学専攻科の『学習マニュアル』にあるチェックリストを参照し、演習前の自己学習として「レオポルド触診法」「腹囲・子宮底の測定」「胎児心音聴取」について各自実施した上で出席してください。

②<注意>成績評価は、総合評価になります。しかし、定期試験100点満点において60点に達していない場合は、再試験の対象となります。

③この科目が不合格となった場合は、通年科目「周産期援助実習」を継続できません。また、後期科目「分娩期援助実習」は履修することができません。

(2) 履修にあたっての心構えと要望

①看護師レベルの基礎学力を復習して履修して下さい。

②助産学実習に必要な基本的知識・技術・態度を修得する科目です。予習復習をして臨んで下さい。

③初回の授業で母子健康手帳を配付します。熟読し、活用できるようにして下さい。

④ペア・グループ学習（*以降、「演習 PP」とする）は、『学習マニュアル』を活用して進めます。具体的な進め方や発表について十分熟読し、個人学習・グループ学習に積極的に参加して下さい。

【課題①～③】【課題④～⑤】は、まず、個人課題で行い、それをもとにグループワークを行います、グループ内で【課題①～⑤】を新しく作成します。発表後、修正されたグループの【課題①～⑤】が最終提出です。最終提出は、WebClassにて公開します。

⑤20～23回の演習では、妊婦健康診査の場面の中で正確な助産技術を行い、助産診断ができるよう臨んで下さい。

オフィスアワー：質問は、講義時間内もしくは講義終了後に来て下さい。（平日8：30～17：30）

教科書：

(1) 我部山キヨ子. 武谷雄二編：助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期、第6版、医学書院。

(2) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト、第4巻 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会。

(3) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第6版、医学書院、2026。

(4) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック、第7版、医学書院、2025。

(5) 中根直子. 馬目裕子：新訂第2版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ、2025。

(6) 我部山キヨ子. 大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第2版、医学書院、2018。

参考書：

(1) 堀内成子. 片岡弥恵子編：助産学講座5、助産診断・技術学Ⅰ、第7版、医学書院。

(2) 我部山キヨ子. 安達久美子編：助産学講座1、基礎助産学[1]助産学概論、第6版、医学書院。

(3) 我部山キヨ子. 菅原ますみ編：助産学講座4、基礎助産学[4]母子の心理・社会学、第6版、医学書院。

(4) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト、第2巻 ウイメンズヘルスケア、日本看護協会出版会。

(5) 進純郎. 高木愛子著：ブラッシュアップ助産学 助産外来の健診技術、医学書院、2010。

(6) 藤井知行編：週数別妊婦健診マニュアル 第2版、医学書院、2021。

(7) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、日本産婦人科学会事務局、2023。

授業科目名の区分		助産診断・技術学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
分娩期の 助産診断・技術学	9203	演習	前期	必修	3/60	稲井 洋子
概要: 分娩期にある対象の心理的・身体的・社会的側面の理解を深め経時的なケアの方法を学ぶ。						北川 典子
目的: 妊娠経過をふまえ、分娩期にある対象の助産過程を経時的に展開できるよう知識・技術・態度を養う。						岡部 史恵
到達目標: 1. 分娩期の助産診断の方法を理解し、産婦の健康状態を正確に把握し、異常の早期発見や適切なケア支援に活かすことができる。 2. 分娩介助技術の原理・原則を理解できる。 3. 分娩期にある母児の事例の助産過程が展開できる。 4. 事例の助産過程の展開のもと、分娩介助を実施できる。 5. 助産師の倫理綱領に基づき、分娩期のケアが実践できる。 6. 分娩期の助産実践の課題の明確化と、課題の解決に向けた努力ができる。						高橋 紗耶香 斎藤 俊子 芹澤 深雪
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連: <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法: 1. 定期試験〔筆記試験〕(60%) 2. 技術試験(30%) 3. 学習態度(10%) 成績評価基準: 本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験・技術試験・課題・学習態度の総合点をGPA実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/22(水)	分娩期の助産診断(1)	分娩期の助産診断類型と診断名のつけ方 診断に必要な情報 経過診断の類型と診断名のつけ方 健康生活診断の診断類型と診断名のつけ方 教科書(4)(5)(1)(2)、配付資料			稲井
2	4/22(水)	分娩期の助産診断(2)	分娩経過に応じた助産診断 入院時の診断・アセスメントとケアの視点 分娩第1期のアセスメントとケアのポイント 教科書(4)(5)(1)(2)、配付資料			稲井
3	4/28(火)	分娩期の助産診断(3)	分娩第2期～分娩第3期の 診断・アセスメントとケアのポイント 分娩後2時間までのアセスメントとケアのポイント 教科書(4)(5)(1)(2)、配付資料			稲井
4	5/1(金)	分娩期の助産過程(1)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 ～助産過程学習のオリエンテーション～ 正常に経過する産婦の助産過程の展開 教科書(3)(4)(5)【課題①/個人学習】演習PP			稲井 岡部・高橋
5	5/11(月)	分娩期の助産過程(2)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 正常を逸脱した産婦の助産過程の展開 〔助産類型毎の分析の検討(1)〕 教科書(3)(4)(5)【課題②/グループ学習】演習PP			稲井 岡部・高橋
6	5/13(水)	分娩期の助産過程(3)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 〔助産類型毎の分析の検討(2)〕 教科書(3)(4)(5) 【課題②/グループ学習】演習PP			稲井 岡部・高橋

7	5/19(火)	分娩期の助産過程(4)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 分析と診断の統合とケアの方向性および今後の予測(1) 教科書(3)(4)(5) 【課題②/グループ学習】	稲井 岡部・高橋
8	5/22(金)	分娩期の助産過程(5)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 分析と診断の統合とケアの方向性および今後の予測(2) 教科書(3)(4)(5) 【課題②/グループ学習】 演習PP	稲井 岡部・高橋
9	5/27(水)	分娩期の助産過程(6)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(1) 教科書(3)(4)(5) 【課題②/グループ学習】 演習PP	稲井 岡部・高橋
10	6/1(月)	分娩期の助産過程(7)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(2) 教科書(3)(4)(5) 【課題②/グループ学習】 演習PP	稲井 岡部・高橋
11	6/3(水)	分娩期の助産過程(8)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 発表資料の整理 PowerPoint原稿の作成 教科書(3)(4)(5) 【課題②/グループ学習】 《発表資料の作成・提出》 演習PP	稲井 岡部・高橋
12	6/11(木)	分娩期の助産過程(9)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 【発表】 ～事例の異なる小グループに分かれて意見交換～ 1) 事例紹介	稲井・北川 岡部・高橋 斎藤・芹澤
13	6/11(木)	分娩期の助産過程(10)	2) パルトグラム等を用いて分娩経過の説明 3) 診断産過程(分析・診断・統合)の説明 4) 実践過程(目標・計画)の修正ポイント説明 5) 意見交換・評価 演習PP	
14	6/11(木)	分娩期の助産過程(11)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 【まとめ・課題の明確化】 1) 事例毎に発表で意見交換された内容について グループで検討 2) 様々な事例の助産過程展開をもとに、実習課題を明確 にする 3) 最終的な提出記録をクラスフォルダへ提出 《課題②/グループ学習資料の提出》 演習PP	稲井
15	5/1(金)	分娩介助技術(1)	1) 分娩介助法の意義・原理について ①分娩室の準備、②必要物品の準備、③産婦の準備 ④介助者の準備 2) 正常分娩介助法の原理(分娩体位による利点と欠点) ①仰臥位分娩、②側臥位分娩、③四つん這い分娩、 ⑤座位・蹲踞位 教科書(1)(2)(3)(8)、「分娩介助手順」講義	稲井
16	5/8(金)	分娩介助技術(2)	3) 分娩の準備から分娩終了までの技術 ①器具・器材の配置、②手指消毒、③外陰部洗浄、 ④努責の誘導、⑤肛門・会陰保護、⑥児頭・体幹の娩出、 ⑦胎盤娩出、⑧分娩後の産道精査 ⑨その他：ルーチン業務の見直しについて 等 教科書(1)(2)(3)(7)(8)、「分娩介助手順」講義	稲井
17 18	5/11(月)	分娩介助技術(3)	分娩介助の実際(生体モデルによる) ～側面介助～[教員によるデモンストレーション] 教科書「分娩介助手順」 演習	稲井・北川 岡部・高橋
19 20	5/25(月)	分娩介助技術 I [場面設定による演習と 意見交換]	分娩介助の実際(生体モデルによる) ～入院時の対応、分娩室入室・分娩介助まで～ 場面①：電話による入院の判断、入院時の対応 教科書(1)(2)(3)(8)、「分娩介助手順」 演習	稲井・北川 岡部・高橋 斎藤・芹澤
21 22	6/1(月)		場面②：産痛緩和と分娩室入室時の対応 教科書(1)(2)(3)(8)、「分娩介助手順」 演習	

23 24	6/22(月)		場面③：分娩介助／ローリスク分娩 教科書(1)(2)(3)(6)(7)(8)、「分娩介助手順」 演習	
25 26	6/25(月)		場面④：分娩介助／ハイリスク・異常分娩 教科書(1)(2)(3)(6)(7)(8)、「分娩介助手順」 演習	
27 28	6/30(火)	分娩介助技術 II [場面設定演習の演習]	上記、場面④で未体験（他グループの見学をした内容）の 産婦ケアを実際に演習 教科書(1)(2)(3)(6)(7)(8)、「分娩介助手順」 演習	稲井・北川 岡部・高橋 斎藤
29 30	7/9(木)		第27-28回の実践に基づいた評価 【グループ学習】	稲井・北川 岡部・高橋

履修者へのコメント：

(1) 履修条件 特になし

(2) 本学専攻科の学習マニュアルを参照し、演習前の学習と技術確認テストの「ガウンテクニック」のチェックを受け臨んでください。詳細は別途、掲示します。

(3) 履修にあたっての心構えと要望

【講義】 看護レベルの基礎学力を復習して履修して下さい。

助産学実習に必要な基本的知識・技術・態度を修得する科目です。予習復習をして臨んで下さい。

【ペーパーペイシエント学習】

『学習マニュアル』を熟読し個人学習・グループ学習に臨んで下さい。

【事前学習】 5月11日(月)の講義時、グループ学習開始までに指定された記録用紙を稲井まで提出してください。

【事後学習】 フィードバックは、各回の授業時に行います。別途、課題提出について指示します。

(4) この科目が不合格となった場合は、通年科目「周産期援助実習」を継続できません。また、後期科目「分娩期援助実習」は履修することができません。

【技術演習】

①分娩介助技術演習では本学で作成した「分娩介助手順」を配布します。テキストとあわせ熟読してください。

②分娩介助技術は、教員のデモンストレーション授業後、放課後等に実習室の予約をして練習して下さい。

③分娩介助技術 I 19-26回の演習では、場面設定をした分娩介助技術について実施します。

※基礎的な技術については、各自で繰り返し練習をして臨んでください。

※場面設定③と④では応用場面での学習として、ペーパーペイシエント学習した事例で演習を行います。

④後期の助産学実習までに一連の流れを実施できるよう、放課後や夏休み期間を利用して直接介助5回以上、間接介助5回以上、産婦（児頭の回旋係）3回以上を目標に実施し自己課題を明確にして実習に臨んでください。

⑤分娩介助技術 I の場面設定による演習と意見交換は、講義と分娩介助演習「分娩介助の器具機材の配置から分娩終了の説明」を各自で十分に学習して望んでください。

演習当日の場面設定等については、別紙提示します。

⑥分娩介助技術 II 27-30回の演習では、25-26回で実施しなかった他グループのハイリスク・異常分娩の介助について演習します。ペーパーペイシエントの実践過程（助産計画）に基づき、実際に行動して学習を深めてください。

【技術試験】

①分娩介助技術試験の詳細は、『学習マニュアル』：「技術試験」を参照してください。

②内容は、ローリスク産婦を対象とした分娩介助技術について、生体モデルを用いて実施します。

③試験範囲は本学の『分娩介助手順』の「人工破膜から軟産道損傷・頸管裂傷の確認」までとなります。

④試験の組み合わせ等は、別途提示します。

【注意事項】

①分娩介助技術 II の技術試験に合格しないと、「分娩期援助実習」で分娩介助を実施することはできません。

②分娩介助技術試験は合格点に達しても、分娩介助にかかる重要な技術〔必須項目〕に課題がある場合は、再試験の対象となります。

オフィスアワー：講義時間以外の質問は、事前にアポイントをとって下さい。（平日8:30～17:30）

①講義・演習に関する内容：稲井

②練習のための教室の確保等：演習担当教員

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期、第7版、医学書院。
- (2) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト、第5巻、分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会。
- (3) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、
日本産婦人科学会事務局、2023。
- (4) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック 第7版、医学書院、2025。
- (5) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第6版、医学書院、2026。
- (6) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト、第7巻、ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会。
- (7) 分娩期ケアガイドライン翻訳チーム：WHO推奨ポジティブな出産体験のための分娩期ケア 第1版、医学書院、2021。
- (8) 中根直子、馬目裕子：新訂第2版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ、2025。

参考書：

- (1) 厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班編：科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠出産のための
ガイドライン 2013年版、金原出版、2013。
- (2) 北川 眞理子、内山 和美編：今日の助産、改訂第4版、南江堂、2019。
- (3) 竹田省、高橋眞理編：CG動画で分かる！分娩のしくみと介助法、メジカルビュー、2016。
- (4) 加部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション第2版、医学書院、2018。
- (5) 竹田省監、福井トシ子編：臨床助産テキスト第2巻 分娩、メディカ出版、2016。
- (6) 日本産科婦人科学会 編集・監修：産科婦人科用語集・用語解説集 改訂第4版、日本産科婦人科学会、2018。
- (7) 望月礼子：産科エマージェンシー臨床推論～母体急変を見抜く～ 第1版、MCメディカ出版、2020。
- (8) 日本助産学会誌：エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期2024、2024。〔第38巻別冊1号〕

授業科目名の区分		助産診断・技術学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
産褥期の 助産診断・技術学	9204	演習	前期	必修	2/45	北川 典子
概要：産褥期にある対象の身体的・心理社会的側面の理解を深め、母子とその家族へのケアを学ぶ。						阿部 一子
目的：妊娠・分娩の経過をふまえた母子とその家族への助産過程の展開を実践できるよう知識・技術・態度を養う。						稲井 洋子
到達目標： 1. 産褥期の助産診断の方法を理解し、褥婦の健康状態を正確に把握し、異常の早期発見や適切なケア支援に活かせる。 2. ハイリスク褥婦や医療介入を要する褥婦の助産ケアについて必要な支援が理解できる。 3. 産褥期の助産過程の展開の 基本について理解できる。 4. 産褥期の健康診査で基本となる診断技術を正確に（演習）実施できる。 5. 事例をもとに助産過程（診断過程、実践過程）を展開し、対象と家族へのケアを具体的に述べられる。 6. 助産師の倫理綱領に基づき、産褥期のケアが実践できる。 7. 産褥期の助産実践の課題の明確化と、課題の解決に向けた努力ができる。						岡部 史恵
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						高橋 紗耶香
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（90％） 2. 学習態度（10％） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）、演習、学習態度の総合点をGPA実施規則に則り評価する。						斎藤 俊子
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	5/20 (水)	産褥期の助産診断(1)	産褥期の助産診断類型と診断名のつけ方 診断に必要な情報 経過診断の類型と診断名のつけ方 健康生活診断の診断類型と診断名のつけ方 教科書(1)(2)(4)(5)			岡部
2	5/21 (木)	産褥期の助産診断(2)	産褥経過に応じた助産診断 産褥期の診断・アセスメントとケアの視点 教科書(1)(2)			岡部
3	5/27 (水)	産褥期の助産診断(3)	退行性変化を促すためのケアのポイント 教科書(1)(2)			岡部
4	6/26 (金)	産褥期の助産診断(4)	進行性変化のアセスメントとケア 教科書(1)14章、(2)4章			阿部
5	6/30 (火)	産褥期の助産診断(5)	進行性変化を促すためのケアのポイント 母乳育児支援、乳頭亀裂、乳房うっ積・うっ滞、乳腺炎の原因、発生因子、予防策 教科書(1) 14章、(2)4章			阿部

6	5/28 (木)	産褥期における指導 (1) 退院後の生活	退院後の母児の生活 産褥2週間、産後1か月における変化 教科書(1)(2)(5)	北川
7	5/29 (金)	産褥期における指導 (2) 家族計画	産褥期の性機能、産道および腹壁の復古 産後の避妊法の実際 様々な対象に合わせた家族計画指導の実際 【課題①】グループ学習 教科書(1)(2)(7)	北川
8	6/3 (水)	産褥期における指導 (3) 家族計画	様々な対象に合わせた家族計画指導の実際 グループ発表	北川
9	6/4 (木)	医療介入した褥婦の支援	ハイリスク事例の助産ケア 【課題②】グループ学習 教科書(1)(3)	北川 岡部・高橋
10				
11	6/29 (月)	産褥期の助産技術(1)(2)	産褥期の健康診査に必要な助産技術の実践 全身の観察、子宮底測定と悪露交換 演習 教科書(6)	岡部・高橋 北川・稲井 斎藤・芹澤
12				
13	7/7 (火)	産褥期の助産技術(3)(4)	母乳育児支援 授乳、マッサージ、ポジショニング、ラッチオン、 乳頭・乳輪部の浮腫の軽減、搾乳 演習 教科書(1)(2)	阿部
14				
15	6/15 (月)	産褥期の助産過程(1)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 正常に経過する褥婦の助産過程の展開の整理 記録の整理とPP学習のオリエンテーション 教科書(4)(5)【課題③/グループ学習】演習PP	岡部 北川・高橋
16	6/16 (火)	産褥期の助産過程(2)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 診断過程の展開 情報収集 分析 診断 教科書(4)(5)【課題③/グループ学習】演習PP	岡部 北川・高橋
17	6/17 (水)	産褥期の助産過程(3)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(1) 計画の立案 教科書(4)(5)【課題④/グループ学習】演習PP	岡部 北川・高橋
18	6/23 (火)	産褥期の助産過程(4)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(2) 個別保健指導計画案の作成① 教材、媒体の工夫、作成 教科書(4)(5)【課題⑤/グループ学習】演習PP	岡部 北川・高橋
19	6/23 (火)	産褥期の助産過程(5)(6)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開(5)《発表資料の作成》 教科書(4)(5)【課題⑤/グループ学習】演習PP	岡部 北川・高橋
20				
21	7/2 (木)	産褥期の助産過程(7)	ペーパーペイシエントによる事例の展開【発表】 演習PP ～事例の異なる小グループに分かれて意見交換～ 1) 事例紹介 2) 産褥経過の説明 3) 診断産過程(分析・診断・統合)の説明 4) 実践過程(目標・計画・保健指導案の説明) 5) 意見交換・評価	岡部・北川 稲井・高橋 斎藤・芹澤
22				

23	7/2 (木)	産褥期の助産過程 (8)	<p>ペーパーペイシエントによる事例の展開 【まとめ】 【課題⑥／グループ学習】 産褥期における助産過程および保健指導の課題</p>	岡部・北川
<p>履修者へのコメント：</p> <p>(1) 履修条件</p> <p>①本学専攻科の『学習マニュアル』を参照し、演習前に事前学習とチェックリストによる「子宮底の測定・悪露交換」「乳房の観察」の学習をして臨んでください。</p> <p>②<注意>成績評価は、総合評価になります。しかし、定期試験100点満点において60点に達していない場合は、再試験の対象となります。</p> <p>③この科目が不合格となった場合は、通年科目「周産期援助実習」を継続できません。また、後期科目「分娩期援助実習」は履修することができません。</p> <p>(2) 履修にあたっての心構えと要望</p> <p>①看護師レベルの基礎学力を復習して履修して下さい。</p> <p>②助産学実習に必要な基本的知識・技術・態度を修得する科目です。予習・復習をして臨んで下さい。</p> <p>③ 講義・演習には積極的に参加し、随時質問してください。</p> <p>④第7-8回の講義では、【課題①】として基本的な避妊方法のメリット、デメリットを事前学習して臨んで下さい。事前学習を基にグループ学習を行います。</p> <p>⑤第9-10回の講義ではハイリスク事例の助産ケアについてグループワークします。周産期の健康科学での学びをベースに助産過程を展開します。【課題②】ハイリスク褥婦のケアについて事前学習をして臨んで下さい。</p> <p>⑥第15～23回のペーパーペイシエント学習（＊以降、「演習PP」とする）では、『学習マニュアル』を活用して授業を行います。具体的な進め方や発表について十分熟読し、個人学習・グループ学習に積極的に臨んで下さい。</p> <p>【課題③】【課題④】【課題⑤】【課題⑥】は、講義内にフィードバックを行います。</p> <p>⑦技術演習では、本学で作成した『学習マニュアル』を使用します。配付資料とテキストと共に熟読してください。</p>				
<p>オフィスアワー：質問は、講義時間内もしくは講義終了後、平日 8:30～17:30 に来てください。</p>				
<p>教科書：</p> <p>(1) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期、第7版、医学書院。</p> <p>(2) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト、第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会。</p> <p>(3) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト、第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会。</p> <p>(4) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第6版、医学書院、2026。</p> <p>(5) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック、第7版、医学書院、2025。</p> <p>(6) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第2版、医学書院、2018。</p> <p>(7) 堀内茂子・片岡弥恵子編：助産学講座5、助産診断・技術学Ⅰ、第7版、医学書院。</p>				
<p>参考書：</p> <p>(1) NPO法人日本ラクテーションコンサルタント協会：母乳育児支援スタンダード、第3版、医学書院。</p> <p>(2) 根津八鉦：新乳房管理学、諏訪メディカルサービス、2022。</p> <p>(3) 堤尚子：堤式乳房マッサージ法：理論と実際、たにぐち書店、2002。</p> <p>(4) 新道幸恵、和田サヨ子：母性の心理社会的側面と看護ケア、医学書院、1990。</p> <p>(5) 沢竹内徹：親子のきずなはどうつくられるか、医学書院、2001。</p> <p>(6) 編集北村俊則：事例で読み解く 周産期メンタルケアの理論 産後うつ病発症メカニズム理解のために、医学書院、2007。</p> <p>(7) 我部山キヨ子編：助産学講座3、基礎助産学[3] 母子の健康科学、第6版、医学書院。</p> <p>(8) 吉田敬子、山下洋、鈴宮寛子監修：妊娠中から始めるメンタルヘルスケア 第2版、日本評論社、2019。</p> <p>(9) 中根直子、馬目裕子：新訂第2版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ、2025。</p>				

授業科目の区分		助産診断・技術学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
新生児期の健康科学	9205	講義	前期	必修	1/30	側島 久典
概要：胎生期からの発達・発育を含め、胎外生活へ向けての病態生理と治療、蘇生の実際について学ぶ。						國方 徹也
目的：胎生期から新生児、乳児期への発達・発育の過程でおこる病態生理の特殊性と、短期・長期予後を学習し、母子看護に必要な知識・技術を修得する。						堀田 奈緒美 加部 一彦
到達目標：1. 胎内生活から胎外生活への適応生理、発達生理について説明することができる。 2. 新生児の異常を診断し対応するための知識を理解することができる。 3. 新生児蘇生に必要な知識・技術を習得することができる。						非常勤講師
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（90%）、学習態度（10%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験、学習態度を総合し、GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日 (曜)	授業項目	内 容			担当者
1	5/19(火)	出生前小児科学 (1)	胎児の生理、成長と発達、出生前育児学 教科書(1)、配付資料			側島
2	5/19(火)	出生前小児科学 (2)	遺伝子病、染色体異常、胎芽病、胎児病 出生前診断と治療 教科書(1)、配付資料			側島
3	5/20(水)	胎児の発育	胎児の発育曲線と子宮内発育遅延の原因と予後 教科書(1)、配付資料			國方
4	5/26(火)	新生児の出生時の適応生理	胎内生活から胎外生活への移行 教科書(1)、配付資料			側島
5	5/26(火)	新生児と低出生体重児の定義と分類	新生児と低出生体重児の定義、分類、生理的特徴 疫学、保健統計 教科書(1)、配付資料			側島
6	6/2(火)	早産児・低出生体重児の疾患	先天奇形、分娩外傷、低出生体重児の代表的な疾患 教科書(1)、配付資料			側島
7	6/2(火)	早産児・低出生体重児のケア	低出生体重児の保育環境（栄養、感染防止、母子接触） 教科書(1)、配付資料			側島

8	7/8(火)	新生児仮死	新生児仮死の病態と救急蘇生法の理論 教科書(1)(2)、配付資料	國方
9 10 11	7/8(火)	新生児蘇生法演習 (1)(2)(3)	1. 演習準備 2. 新生児仮死、救急蘇生法の実技演習 「一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 公認 新生児蘇生法普及事業 Aコース 新生児蘇生法〔専門〕コース を学内で開催 3. 復習とふり返り 教科書(2)	國方 堀田 非常勤講師
12	6/9(火)	新生児の異常	新生児の異常徴候 教科書(1)、配付資料	側島
13	6/9(火)	新生児の疾患 (1)	呼吸・循環器疾患 教科書(1)、配付資料	側島
14	5/14(木)	新生児の疾患 (2)	中枢神経系の発達 教科書(1)、配付資料	加部
15	5/14(木)	新生児の生命倫理	新生児医療における生命倫理的問題、フォローアップ 教科書(1)、配付資料	加部
履修者へのコメント：				
(1)履修条件 この科目が不合格となった場合は、通年科目「周産期援助実習」を継続できません。また、後期科目「分娩期援助実習」は履修することができません。				
(2)履修にあたっての心構えと要望 ①概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。 ②授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。				
(3)日本周産期・新生児医学会の新生児蘇生法普及事業について 既にNCPR 専門コース(Aコース)を取得しているものは、履修の際に専攻科教員に申し出ること。 新生児蘇生の実践ができるように十分な事前学習をして臨むこと。				
オフィスアワー：質問は授業終了後に教室にて受け付ける。				
教科書： (1)石井邦子、廣間武彦編：助産学講座8、助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期、第6版、医学書院、 (2)細野茂春監修：改訂第4版 日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト、メジカルビュー社、2021.				
参考書： (1)江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト、第6巻 産褥期のケア新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会。 (2)小林康江編：助産師基礎教育テキスト、第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会。				

授業科目の区分		助産診断・技術学				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
新生児期の助産診断・技術学	9206	演習	前期	必修	1/30	北川 典子
概要：専門科目として助産診断・技術学に位置づけされている科目であり、新生児期にある対象の生理的特性を理解し母体外生活に適応できるよう援助する方法を修得する。助産師の専門的な基礎助産技術(助産診断、助産技術)を理解する。						稲井 洋子
目的：新生児の助産過程の展開に必要な知識・技術・態度を養う。						岡部 史恵
到達目標：1. 新生児期の生理的变化を理解し、胎外生活適応を促すケアが説明できる。 2. 母子・父子の家族関係形成への支援がわかる。 3. 医療介入を必要とする新生児のケアとその家族への支援が説明できる。 4. 新生児期の助産過程の展開の基本について理解できる。 5. 新生児のケアに必要な助産技術が安全安楽に(演習)実施できる。 6. 事例をもとに助産過程(診断過程、実践過程)を展開し、対象と家族へのケアを具体的に述べる事が出来る。 7. 助産師の倫理綱領に基づき、新生児期のケアが実践できる。 8. 新生児期の助産実践の課題の明確化と、課題の解決に向けた努力ができる。						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						斎藤 俊子
成績評価方法：1. 定期試験(筆記試験)(90%) 2. 学習態度(10%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験、演習、学習態度の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						芹澤 深雪
回	月/日曜	授業項目	内 容			担当者
1	5/11(月)	新生児期の助産診断(1)	新生児期の助産診断の特徴と着眼点 新生児期の診断類型と診断名のつけ方 診断に必要な情報 経過診断の診断類型と診断名のつけ方 健康生活診断の診断類型と診断名のつけ方 教科書(1)(2)(3)(4)(5)			高橋
2	5/13(水)	新生児期の助産診断(2)	新生児期の助産過程 出生後 24 時間以内のアセスメントとケアのポイント 生後 7 日目までのアセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)(3)(4)(5)			高橋
3	5/20(水)	新生児期の助産診断(3)	新生児期の助産過程 退院後のアセスメントとケアのポイント 助産技術に向けて 教科書(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)			高橋
4	5/18(月)	新生児に必要な助産技術 (1)(2)	出生直後の新生児の観察 新生児の計測			高橋・北川 岡部・稲井 斎藤・芹澤
5			教科書(6)(7) 演習			

6	6/10(水)	新生児の助産過程(1)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 正常に経過する新生児の助産過程の展開 PP 学習のオリエンテーション 教科書(1)(2)(4)(5)【課題①/グループ学習】演習PP	高橋 北川・岡部
7	6/16(火)	新生児の助産過程(2)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 診断過程の展開 情報収集 分析 診断 【グループ学習】演習PP	高橋 北川・岡部
8	6/25(木)	新生児の助産過程(3)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 実践過程の展開 計画の立案 【グループ学習】演習PP	高橋 北川・岡部
9	7/3(金)	新生児の助産過程(4)	ペーパーペイシエントによる事例の展開 診断過程・実践過程のまとめ 【グループ学習】演習PP	高橋 北川・岡部
10	7/3(金)	新生児訪問の助産過程 (1)	新生児訪問における助産過程の展開 生後20日目の新生児訪問計画、オリエンテーション 情報収集の整理と診断過程の展開 教科書(1)(2)(4)(5) 【課題②/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
11	7/7(火)	新生児訪問の助産過程 (2)	ペーパーペイシエントによる助産過程の展開 生後20日目の新生児の訪問 実践過程の展開 教科書(1)(4)(5)【課題②/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
12	7/7(火)	新生児訪問の助産過程 (3)	ペーパーペイシエントによる助産過程の展開 実践過程の展開 教科書(2)(5)【課題②/グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
13	7/10(金)	新生児訪問の実践 (1)	助産過程を元に新生児の電話訪問と家庭訪問の実践 (生後20日目) 配付資料 演習	北川・稲井 岡部・高橋 斎藤・芹澤
14		(2)		
15	7/10(金)	新生児訪問の実践 (3)	まとめと今後の課題、社会資源の活用と多職種の連携 教科書(1)	北川

履修者へのコメント：

(1)履修条件：

- ①新生児期の健康科学の単位を修得していることが望ましい。
- ②<注意>成績評価は、総合評価になります。しかし、定期試験 100 点満点において 60 点に達していない場合は、再試験の対象となります。
- ③この科目が不合格となった場合は、通年科目「周産期援助実習」を継続できません。また、後期科目「分娩期援助実習」は履修することができません。

(2)履修にあたっての心構えと要望

- ①看護師レベルの基礎学力を復習して履修して下さい。
- ②助産学実習に必要な基本的知識・技術を修得する科目です。予習復習をして臨んで下さい。
- ③新生児の健康科学の講義から疾患についての病態や治療、予後など該当する内容について予習(30分以上)して授業に臨んでください。
- ④『学習マニュアル』にある技術確認を各自が事前に行った上で技術演習に臨んで下さい。
- ⑤新生児の助産過程(*以降、「演習PP」とする)は、個人学習【課題①】をもとにグループ学習を行い展開します。進め方の詳細は『学習マニュアル』を参照ください。
- ⑥第10回～第15回は、【課題②】生後20日目の新生児訪問における助産過程の展開(*以降、「演習PP」とする)を行い、その場面演習(電話訪問と家庭訪問)を行います。
- ⑦技術演習は、事前学習を十分に行い、根拠に基づき正確かつスムーズにできるように準備して下さい。

オフィスアワー：質問は、授業時間内もしくは講義終了後に来て下さい。(平日 8 : 30～17 : 30)

教科書：

- (1) 石井邦子、廣間武彦編：助産学講座 8、助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期、第 6 版、医学書院。
- (2) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト、第 6 巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会。
- (3) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト、第 7 巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会。
- (4) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第6版、医学書院
- (5) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック、第7版、医学書院。
- (6) 中根直子、馬目裕子：新訂第2版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ、2025。
- (7) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第2版、医学書院、2018。

参考書

- (1) 平澤美恵子、村上睦子監修：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス、インターメディカ、2020。

授業科目の区分		地域母子保健				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
地域母子保健学 I	9301	講義	前期	必修	1/15	小野寺 亘
<p>概要：地域母子保健を推進するための知識を習得するとともに、社会資源の活用や保健医療福祉機関と連携・協働した地域母子保健活動の意義について学ぶ。特に、安心して子どもを産み、健やかに育てるための家庭や地域の役割について、その活動方法やプロセスについて学ぶ。</p>						井上 直子
<p>目的：地域における母子保健活動を理解し、地域の特性をアセスメントして、母子の環境改善に向けた助産師活動ができる能力を養う。</p>						
<p>到達目標：1. 地域母子保健の意義及び母子保健の現状と動向を理解する。 2. 地域母子保健行政の体系及び活動の実際を理解する。 3. 地域母子保健における助産師の役割について述べるができる。</p>						
<p>修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を实践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
<p>成績評価方法：定期試験（筆記試験）（80%）、学習態度（20%）</p> <p>成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合し GPA 実施規則に則り評価する。</p>						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者	
1	4/10 (金)	地域母子保健活動の概念・意義	1. 地域母子保健の概念 1) 地域母子保健の考え方 2) 地域母子保健の変遷 2. 地域母子保健活動の意義 3. 地域母子保健活動における助産師の役割と多職種連携 教科書(1) 第1章		小野寺	
2	4/17 (金)	母子保健行政の体系	1. 母子保健行政の歩み・動向 2. 母子保健に関わる法律 3. 国・都道府県・市町村の役割 教科書(1) 第3章		小野寺	
3	4/24 (金)	母子保健に関わる制度①②	1. 母子保健制度の概要 1) 体系 2) 財源 2. 様々な制度 1) 健康診査 2) 保健指導 3) 療養援護 4) 医療対策 5) 予防接種 6) 不妊治療支援 7) ひとり親家庭の支援 6) 職域と母子保健・女性保護 教科書(1) 第3章		小野寺	
4	5/1 (金)	わが国の母子保健施策	1. 健やか親子21 2. 育成医療支援対策 3. 少子化対策 4. 産前・産後サポート事業、産後ケア 5. 子育て世代包括支援センター 教科書(1) 第3章		小野寺	

5	5/12(火)	地域母子保健活動の実 際①	1. 母子保健活動における連携・協働 2. 産前の母子保健活動 1) 妊婦訪問指導 2) 出産準備教育 教科書(1) 第5章	井上
6	5/12(火)	地域母子保健活動の実 際②	3. 産後の母子保健活動 1) 新生児訪問指導 2) 褥婦訪問指導 3) 産後ケア事業 4) 育児支援 5) 民間組織・自助グループ 教科書(1) 第6章	井上
7	5/26(火)	社会的ハイリスクな母 子の支援	3. 特定の状況における地域母子保健活動 1) 特定妊婦 2) 要保護児童対策地域協議会 3) その他 教科書(1) 第6章	井上
8	5/26(火)	国際母子保健	1. 諸外国の母子保健活動 1) 世界の母子保健の現状と母子保健施策 2) 開発途上国における母子保健の問題と母子保健活動 2. 在留外国人の母子保健 3. 海外在住日本人の母子保健 教科書(1) 第6章	井上
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①授業開始時に授業に用いる資料を配付するので、毎回持参すること。 ②履修にあたって予習・復習それぞれ30分以上してください。 ③課題に対するフィードバックは授業内で解説します。				
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。				
教科書： (1) 我部山キヨ子編：助産学講座9、地域母子保健・国際母子保健、第6版、医学書院。				

授業科目の区分		地域母子保健				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
地域母子保健学Ⅱ	9302	講義	前期	必修	1/15	稲井 洋子
<p>概要：地域母子保健の概念を基に、地域で生活する母子の特性について学び、4か月頃迄の育児支援について学ぶ。子どもの正常な経過および乳幼児の健康診査方法（問診・視診・触診・諸計測）さらに産後訪問の視点について学ぶ。</p>						加部 一彦 斎藤 俊子
<p>目的：産後期にある母親と家族の特徴と社会的特徴を理解し、健康な生活を送るための援助について理解を深める。 子どもの発達を捉える観点、健康診査の方法、地域で生活する家族への具体的な支援方法を理解する。</p>						
<p>到達目標：1. 産後期にある母親の特徴について理解し、健康診査の方法および支援方法について説明することができる。 2. 子どもの発達（「発達・成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」の視点）の概要について理解できる。 3. 子どもの発達に応じた健康診査の意義と内容を説明できる。 4. 子どもに起こりやすい疾患とその予防、治療を受ける乳幼児の療育経過が分かる。 5. 子どもと家族を取り巻く環境と健康増進のための援助について説明できる。</p>						
<p>修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる 						
<p>成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（90%）、2. 学習課題（10%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度の総合点をGPA実施規則に則り評価する。</p>						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	5/15(金)	産後期の助産診断	1. 産後期とは 1) 産後期の特徴 2) 産後期の助産診断 ①乳幼児に対する健康診査について（近年の改正事項） ②産後期の経過診断〔1か月健診後～4か月まで〕 ・母体の状態 ・児の状態（※2-3回目） ③産後期の健康生活診断 教科書(6)(7)			稲井
2	5/21(木)	子どもの発達と健康診査	1. 発達への理解 1) 子どもの発達を理解することの意義 発育・発達の原則、身体発育の評価、身体発育曲線 2) 子どもの発育と環境			加部

3	5/21(木)		<p>身体発育に影響する因子、発育の異常</p> <p>2. 胎児期からの発達</p> <p>1) 生涯発達と発達援助</p> <p>2) 生理機能の発達 自律神経、子どもの体温、子どもの水分代謝、睡眠</p>	加部
4	6/8(木)		<p>3) 運動機能の発達 「反射」と運動機能、運動機能通過率曲線</p> <p>4) 精神機能の発達 様々な精神機能の発達、ことば、社会性、情緒 精神運動機能の評価、精神発達に影響する因子</p> <p>5) 子どもの発育とあそび 教科書 (2) (3) (4) (5)</p>	加部
5	6/8(月)	(前頁続き) 子どもの発達と 健康診査	<p>3. 発達への援助と健康診査の補助</p> <p>1) 基本的な生活習慣の獲得と発達援助</p> <p>2) 発達の課題に応じた援助や関わり</p> <p>3) 乳幼児の健康診査 [1か月・3か月健康診査・他] 年齢に応じた健康診査項目と具体的な診察方法</p> <p>4. 子どものかかりやすい疾病・事故と予防</p> <p>1) かかりやすい疾病</p> <p>2) 疾病予防と予防接種、予防接種の実際</p> <p>3) 子どもの事故とその予防</p> <p>5. ハイリスク乳幼児の治療と経過 [その他の健康診査]</p> <p>1) 低出生体重児</p> <p>2) 先天奇形・先天異常のある児</p> <p>3) 精神・運動発達遅滞のある児</p> <p>4) 特殊な状況下にある児</p> <p>教科書(2) (3) (4) (5)</p>	加部
6	6/26(金)	地域における 子育て支援	<p>1. 地域における子育て支援の意義と実際</p> <p>1) 子育て世代包括支援センター事業</p> <p>2) 孤立しない育児への取り組み [地域での友達づくり]</p> <p>3) 訪問に必要な技術 [1か月健診以降の訪問]</p> <p>(1) 訪問前の情報収集</p> <p>(2) 訪問時の注意点 [訪問時のマナー]</p> <p>(3) 健康診査の実際</p>	斎藤
7	6/26(金)	[乳児家庭全戸訪問]	<p>①母体の状態を評価する ・身体的状態 ・乳房の状態</p> <p>(4) 評価とおよび保健指導と継続支援・他職種連携</p> <p>(5) 産後期の助産過程の展開に向けて 教科書(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 配付資料</p> <p>【課題①】産後期の助産過程の展開/記録用紙の作成</p>	斎藤 稲井
8	6/30(火)	母親のDV 虐待を受けている・受けて いると推測される乳幼 児	<p>1. DV(domestic violence)について 定義、特徴と実態、被害女性への援助 DV環境下の子ども</p> <p>2. 虐待とその予防および早期発見について 日本における虐待の実態、虐待を疑う状況 虐待をなくすための対策</p> <p>配付資料</p>	稲井

履修者へのコメント：

(1)履修条件なし

(2)履修にあたっての心構えと要望

①該当する部分のテキストを読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度)

②次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度)

(3)課題について

【課題①】産後期に実施される「乳児家庭全戸訪問」時に必要な情報と分析すべき項目および他職種へ連携を図るための視点を網羅させた記録用紙を作成します。

【個人作業】

・使用する人物設定：地域で活動する助産師

・用紙の設定：自由、枚数制限無し〔実用的なサイズと書式とすること〕

・提出期限：2026年 本科目6回目終了した1週間後の16時30分迄《短大4階 稲井》

オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

(1) 我部山キヨ子編：助産学講座9、地域母子保健・国際母子保健、第6版、医学書院。

(2) 石井邦子、廣間武彦編：助産学講座8、助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期、第6版、医学書院。

(3) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト、第6巻 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会。

(4) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト、第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会。

(5) 福岡地区小児科医会入場時保健委員会編：乳幼児健診マニュアル、第7版、医学書院、2025。

(6) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック 第7版、医学書院。

(7) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第6版、医学書院。

参考書：

(1) 我部山キヨ子、菅原ますみ編：助産学講座4、基礎助産学[4] 母子の心理・社会学、第6版、医学書院。

(2) 二宮啓子、今野美紀編：看護学テキスト NiCE 小児看護学 I 小児看護学概論・小児看護学技術改訂第4版 子どもと家族を理解し力を引き出す、南江堂、2022。

(3) 日本助産師会 産後ケアガイド改訂特別委員会編：助産師のための産後ケアガイド2023、公益社団法人日本助産師会出版。

授業科目の区分		助産管理				R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
助産管理	9401	講義	通年	必修	2/30	稲井 洋子
概要：助産業務に必要な管理の原則、病院や助産所における管理に必要な知識とその体制、妊産婦と子どもおよびその家族に必要な助産業務の管理について学ぶ。						武藤 光代
目的：助産管理の基本と助産師の義務・責任、関係法規と病院・診療所や助産所の助産業務および助産管理とリスクマネジメントの実際について修得する。 助産における倫理について、グループワークを通して自己の考えを明確にする。						関口 恵 坂本 真紀
到達目標： 1. 助産業務を遂行するにあたり、助産師の定義、法律と業務を理解できる。 2. 各施設における助産業務管理の実際を理解できる。 3. 助産業務に必要な、各種ガイドラインについて説明できる。 4. 災害時における助産師の役割と業務について説明できる。 5. 勤務助産師・開業助産師の立場で助産業務を管理・点検できる。 6. 社会情勢に応じた助産所の管理・運営に必要なことを説明できる。 7. 助産業務の特性と多職種連携について説明できる。						中島 桂子 江森 徳子
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（80%） 2 学習態度・レポート（20%）※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/13(月)	助産管理における マネジメント(1)	1. 助産管理学とは 2. マネジメントの定義とマネジメントサイクル 3. 助産におけるマネジメントの実際 教科書(1) (6)			稲井
2	4/20(月)	助産管理における マネジメント(2)	1. 助産師の業務範囲、助産管理の定義、助産業務管理の特性について 2. 助産師の法的責任と義務・責任 3. 助産業務管理におけるリスクマネジメント 4. 助産に関連した医療政策 教科書(1) (6)			稲井
3	5/29(金)	大学病院における 管理と管理体制	病院の管理体制と助産師の役割 教科書(1)			武藤
4	6/10(水)	病院・診療所における 助産管理(1) 産科病棟の管理	産科病棟・助産外来の管理体制と助産師の役割 ①施設における助産師の役割と他部門との連携の実際 ②快適な出産環境のための設備管理の実際 ③多種多様な医療従事者の管理体制と協働の実際			関口

5	6/10(水)	病院・診療所における 助産管理(2) 助産外来の管理	④産科診療施設の役割と助産サービス管理の実際 ⑤「助産業務ガイドライン」に基づいた院内助産の実際 教科書(1)	関口
6	6/9(火)	周産期管理システム(1) MFICUの管理	MFICU・NICUにおける助産管理 ①MFICU・NICUの役割について ②周産期医療ネットワークの役割 ③オープンシステムや周産期医療システムの必要性 教科書(1)	坂本
7	6/9(火)	周産期管理システム(2) NICUの管理		坂本
8	7/3(金)	助産所における 助産管理(1)	関係法規と助産所の管理(経営) ①施設における助産師の役割・責務、他部署との連携 ②快適な出産環境のための設備管理の実際 ③管理体制と協働の実際 ④助産所や出張分娩介助における分娩管理の実際 ⑤助産所の多様な機能と役割の実際 ⑥「助産業務ガイドライン」に基づいた助産ケアの実際 ⑦助産所開業におけるコスト管理について ⑧助産評価機構等の第三者評価の受診と必要性 教科書(1)(2)(3)	中島 江森
9	7/3(金)	助産所における 助産管理(2)		中島 江森
10	6/23(火)	助産師の行う 医療安全と危機管理	1. 医療安全対策とケアの保証 ①助産現場における報告・連絡・相談と記録 ②記録の重要性と改ざん・違法性 2. 医療安全管理体制 ①産科医療保障制度 ②医療事故調査制度 ③助産師のケアの保証 [アドバンス助産師など] 3. 助産師の健康と安全 教科書(1)(4)(7)	稲井
11	6/29(月)	災害時における 助産師の役割と業務(1)	1. 災害と災害看護の実際 災害の定義、災害看護とは、災害の種類 災害の発生状況、災害への備え 等 2. 災害時の助産ケア 教科書(1)(4)(7)	稲井
12	1/6(水)	助産管理と倫理(1)	助産業務や助産管理における倫理 (グループワーク) ※ICMの「助産師の倫理綱領」等の資料	稲井
13	1/6(水)	助産管理と倫理(2)	助産業務や助産管理における倫理 (まとめ・課題1レポート作成) ※ICMの「助産師の倫理綱領」等の資料	稲井
14	1/6(水)	助産管理の今後の課題(1)	助産業務や助産管理の今後の課題 (グループワーク) 教科書(2)(3)(5) ※産科保障制度再発防止委員会からの提言集を持参する	稲井
15	1/6(水)	助産管理の今後の課題(2)	助産業務や助産管理の今後の課題 (まとめ・課題2レポート作成) 教科書(2)(3)(5)	稲井

履修者へのコメント：

(1)履修条件

助産課程での学びから1月(12~15回)に助産業務と助産管理について実習体験に基づくグループワークを行いますので、修了要件を満たす助産学実習の単位修得が必要です。

(2)履修にあたっての心構えと要望および課題

①該当する部分のテキストを読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度)

- ②次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度)
- ③前期と後期にまたがる科目です。後期の授業を履修の際には、前期の授業内容を復習して臨んでください。特に助産師の行動指標となる「産婦人科診療ガイドライン産科編2023」と「助産業務ガイドライン2024」を熟読して下さい。
- ④課題について、グループワーク時・レポート作成等の授業内で解説します。
- (3)【課題1】12回-13回は、助産業務や助産管理における倫理について、ICMの「助産師の倫理綱領」をもとに助産学実習の体験をふまえて意見交換し自らの考えをレポートします。パソコン等の準備をして授業に臨んでください。
- (4)【課題2】14回-15回は、助産業務や助産管理の今後の課題について、1年間の学びと今後の展望について意見交換し自らの考えをレポートします。パソコン等の準備をして授業に臨んでください。
- ※課題レポートは、入学時に配布した「学習マニュアル」に基づき作成してください。授業後に提出(時間厳守)。
1800字以内(用紙size; A4、文字数45×40行、上下左右25mmで設定、表紙不要、上部に学籍番号と氏名記載、1枚)

オフィスアワー:

- (1)授業終了後に教室で質問を受け付けます。
- (2)授業時間外の質問は、研究室22までお越しください。

教科書:

- (1)我部山キヨ子編:助産学講座10、助産管理、第6版、医学書院。
- (2)成田伸編:助産師基礎教育テキスト、第3巻 助産サービス管理、日本看護協会出版会。
- (3)日本助産師会編集・監修:助産業務ガイドライン2024、日本助産師会出版、2025。
- (4)日本助産師会編集・監修:助産所開業マニュアル 2021—開設・管理・運営—(2021年版)、日本助産師会出版、2021。

参考書:

- (1)日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修:産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、日本産婦人科学会事務局、2023。
- (2)公益財団法人母子衛生研究会編:母子保健の主なる統計 令和8年刊行、母子保健事業団、2026。
- (3)財団法人母子衛生研究会編:わが国の母子保健 令和3年、母子保健事業団、2021。
- (4)産科医療保障制度 再発防止委員会からの提言集 第1回報告書~第14回報告書、日本医療機能評価機構、2023。
- (5)日本助産師会編集・監修:助産師が行う災害時支援マニュアル、第3版、日本助産師会出版会、2017。
- (6)福井トシ子編集:臨床助産テキスト:第4巻 重要な周辺知識、メディカ出版、2016。

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
周産期援助実習	9501	実習	通年	必修	3/135	北川 典子
概要：助産診断・技術学での知識・技術・態度をもとに、臨地・助産学実習において継続ケースを通して妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期、産褥1か月までの母子に関わり、助産過程の展開と助産ケアについて学ぶ。妊娠期の助産過程については、様々な事例に関わり学ぶ。						稲井 洋子
目的：継続ケースとその家族と信頼関係を築き、妊娠期から育児期を通して主体的で安全安楽な周産期とするための助産ケアを学ぶ。						岡部 史恵
到達目標： 1. 母子とその家族を身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者として総合的にとらえられる。 2. 専門的な知識・技術を統合し、あらゆる場面で活用できる。 3. 妊娠期、分娩期、産褥及び新生児期にある対象と家族について、助産過程（助産診断・助産実践）を展開し、助産・看護を実践できる。 4. 新しい家族の誕生に向けた継続的な関わりの中で、生命に敬意を払い、母子と家族の尊厳を尊重し行動ができる。 5. 助産実践を通して、助産師としての自己の課題を明確にし、継続的に学習できる。 6. 母子とその家族の社会的背景をとらえ、母子保健に関する社会資源の活用について支援できる。 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる。						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						芹澤 深雪
成績評価方法：1. 実習記録・内容 50%（前期＋後期）※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。 2. 助産技術(20%) 3. 実習態度 (30%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・助産技術・実習態度の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。※実習記録の最終提出期限を守れない場合、成績評価の対象にならず不合格となる。						
主要内容						
1. 周産期援助実習の概要：1) 前期実習施設のオリエンテーションを受け、自分の実習行動をイメージする。 2) 周産期援助実習の目的、目標について理解する。 3) 前期実習では、妊娠期の助産診断（初期、中期・末期）を実施する。 4) 継続ケースの妊娠期・産褥期・新生児期・産後1か月まで助産過程の展開をする。 ※継続ケースが経膈分娩の場合は分娩期も助産過程の展開をする。 5) ハイリスク新生児実習として3~4人のグループに分かれ半日ずつ、埼玉医科大学総合医療センターで見学実習を行う。 ※詳細は実習要項参照 2. 継続ケースと継続ケース以外の妊娠期の助産過程の展開 1) 妊娠経過に応じた変化、正常な経過から逸脱しないよう保健指導を実施する。 2) 助産過程の追加、修正、評価を行う。 3) 妊娠期に必要なとされる個別指導計画の実施・評価をする。（食事指導、生活指導、入院の時期など） 3. 継続ケースの帝王切開術を見学し、ハイリスク分娩について学習する。 4. 継続ケースの産褥期・新生児期の助産過程を展開						

<p>1) 産褥期に必要なとされる個別指導計画の実施・評価をする。(生活指導、育児技術指導、家族計画など)</p> <p>2) 継続ケースの新生児に対し出生後2時間からの助産過程の展開を行う。また、追加・修正を行い、実施した援助の評価を行う。日々、日常生活上の援助を実施する。</p> <p>5. 継続ケースの1か月健診(もしくは2週間健診)に立ち会い、実施した援助が適切であったか文献を用いて評価する。 ※実習期間に実施できない場合は、他学生の継続ケースの許可を得て、立ち会うことで補う。</p>
<p>履修者へのコメント</p> <p>(1)履修条件:実習施設の感染症抗体価の基準をみたしている学生。 後期実習開始時、「周産期の健康科学」「妊娠期の助産診断・技術学」「分娩期の助産診断・技術学」「産褥期の助産診断・技術学」「新生児期の健康科学」「新生児期の助産診断・技術学」の6科目すべての単位を修得していること。</p> <p>(2)履修にあたっての心構えと要望および課題</p> <p>1) 前期実習では、継続ケースと外来を受診する妊娠初期、中期・末期の妊婦の助産診断を実施する。 妊娠期の助産診断技術学、新生児診断学と助産管理でのNICUの管理を復習して臨むこと。</p> <p>2) 後期実習では、継続ケースの帝王切開術の見学のため、事前課題として継続ケースに対する1.産科麻酔 2.帝王切開術と縫合 3.術前看護 4.術中看護 5.術後看護についてまとめる。 <u>事前課題は、9月7日(月)朝8時50分までに科目責任者のMailボックスに提出する。</u> 継続ケースは、帝王切開を予定する妊婦を選定するが、状況により経膈分娩の妊婦が選定されることもある。 ※詳細は実習要項を参照してください。</p> <p>3) 該当する部分のテキストを読み、予習・復習をして実習に臨んで下さい。(30分程度)</p> <p>(3) その他</p> <p>1)実習に関する連絡は、実習担当教員に適時確認してください。</p> <p>2)実習に関する質問は、実習時間内に積極的にしてください。</p>
<p>オフィスアワー：実習に関する質問、相談は積極的に担当教員の指導を受けて下さい。</p>
<p>教科書：</p> <p>(1) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断 第6版 医学書院、2026.</p> <p>(2) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト、第4巻 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会.</p> <p>(3) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト、第5巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会.</p> <p>(4) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト、第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会.</p> <p>(5) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座6、助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期、第6版、医学書院.</p> <p>(6) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期、第7版、医学書院.</p> <p>(7) 石井邦子、廣間武彦編：助産学講座8、助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期、第6版、医学書院.</p> <p>※その他：入学後に「母子健康手帳」を教材として購入します</p>
<p>参考書：</p> <p>(1) 日本助産診断実践研究会著：マタニティ診断ガイドブック、第7版、医学書院.</p> <p>(2) 自主的に求める</p>

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
分娩期援助実習	9502	実習	後期	必修	6/270	北川 典子
概要：助産診断・技術学での知識・技術・態度をもとに臨地・助産学実習において、ひとりの産婦を受け持ち分娩第1期から分娩後2時間まで継続的に関わり、助産過程の展開、分娩介助について学ぶ。						稲井 洋子
目的：既習の知識・技術を統合して産婦の助産過程を展開し、助産師としての責任を自覚した態度と行動をとり、医療チームの一員としての役割を遂行できる。						岡部 史恵
到達目標： 1. 分娩期にある対象と家族を身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者として総合的にとらえられる。 2. 分娩介助に必要な知識・技術をあらゆる場面で活用できる。 3. 分娩期にある対象と家族の助産過程（診断過程、実践過程）を展開し、助産・看護を実践できる。 4. 分娩各期の関わりの中で、生命に敬意を払い、母子と家族の尊厳を尊重し行動できる。 5. 助産実践を通して、助産師として自己の課題を明確にし、継続的に学習できる。 6. 分娩期にある対象と家族の社会的背景をとらえ、母子保健に関する社会資源の活用について支援できる。 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						芹澤 深雪
成績評価方法：1. 実習記録（50%）※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。 2. 助産技術（30%） 3. 実習態度（20%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・助産技術・実習態度の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。※実習記録の最終提出期限を守れない場合、成績評価の対象にならず不合格となる。						
主要内容						
1. 分娩期援助実習の概要 1) 分娩期援助実習の目的・目標について理解できる。 2) 実習施設オリエンテーションより概要を理解できる。 2. 産婦の助産過程の展開 1) 母児の経過が診断できる。 2) 産婦の健康生活状態を診断できる。 3) 分娩経過にあわせた呼吸法の指導と産痛緩和法を実施できる。 4) 精神・心理・社会的な生活行動の援助ができる。 5) 出産育児行動の援助ができる。 6) 分娩第1期から分娩後2時間までの援助を実施する。 ※詳細は、実習要項参照 3. 出生直後の新生児を診断し、援助ができる。						

履修者へのコメント

- (1)履修条件:「周産期の健康科学」「妊娠期の助産診断・技術学」「分娩期の助産診断・技術学」「産褥期の助産診断・技術学」「新生児期の健康科学」「新生児期の助産診断・技術学」の6科目すべての単位を修得していること。
- (2)履修にあたっての心構えと準備 ※詳細は実習要項、オリエンテーションを参照してください。
分娩期の助産診断・技術学を再復習して臨んで下さい。
- (3)その他
 - ①実習に関する連絡は実習担当教員に適時確認してください。
 - ②実習に関する質問は実習時間内に積極的にしてください。

教科書:

- (1) 我部山キヨ子、藤井知行編:助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期、第6版、医学書院
- (2) 町浦美智子編:助産師基礎教育テキスト、第5巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会。
- (3) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修:産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、
日本産婦人科学会事務局、2023.
- (4) 日本助産診断実践学会編:マタニティ診断ガイドブック 第7版、医学書院
- (5) 小林康江編:助産師基礎教育テキスト、第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会

参考書:自主的に求める

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
地域母子保健実習	9503	実習	前期	必修	1/45	北川 典子
概要：地域母子保健学を基盤として、埼玉県内の市町村において展開されている母子保健事業に参加し、多職種と連携、協働しながら実際に地域住民の母子保健を推進するための能力を高める。						稲井 洋子 岡部 史恵
目的：地域における母子保健活動の実際から地域の現状と周産期にかかわる助産師の役割と多職種との連携について理解を深める。						高橋 紗耶香
到達目標： 1. 地域の特性、地域で生活する母子とその家族の健康課題を理解できる。 2. 地域母子保健事業の目的・内容・流れを実際から理解できる。 3. 母子保健活動に関わる多職種の役割を理解し、支援がどのようにされているか説明できる。 4. 母子と家族の尊厳を尊重し、守秘義務をもって行動できる。 5. 地域母子保健活動における助産師の役割について理解し、自己の課題を明確にできる。 6. 地域で生活する母子と家族の現状を捉え、将来の助産実践に結び付けて考えることができる。 7. 地域母子保健における助産師の専門性を考え、多職種との協働・連携の必要性を理解できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：1. 実習記録・課題（事前・課題レポート、実習記録、日々の記録など）（70%）※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。2. 実習態度（30%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・課題・実習態度の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。※実習記録の最終提出期限を守れない場合、成績評価の対象にならず不合格となる。						
主要内容						
1. 地域母子保健実習の概要：オリエンテーションを通して、地域の特性と母子保健事業の現状と課題を把握する。 2. 母子保健事業の見学・参加：母子保健事業を通して、地域で生活する母子の現状を知る。また、事業にかかわる関連職種の連携から母子保健活動の実際を学び理解を深める。 3. 妊婦・新生児・乳幼児家庭訪問：妊婦や新生児・乳幼児の家庭訪問に同行し、家庭での母子の健康生活を理解する。 4. 社会の変化と母子保健について理解する：課題学習を通して、安心して子どもを産み健やかに育てるための家庭や地域の役割、継続したケアの連携について理解し、活動方法についてテキスト、授業資料、参考図書を用いて考察する。 5. 実習カンファレンス：①参加した市町村の特徴と地域母子保健事業 ②地域母子保健事業の実際と振り返り ③今後の助産師としての課題						

履修者へのコメント

- (1)履修条件：地域母子保健学Ⅰ・Ⅱの科目を修得していることが望ましい。
- (2)履修にあたっての心構えと要望および課題
 - 1) 地域母子保健学Ⅰ・Ⅱが基盤となるので学習した内容をきちんと復習して臨んで下さい。
 - 2) 事前学習①我が国の母子保健統計と地域の特性（地理・産業・人口動態、健康問題）と母子保健統計について ②参加する母子保健事業の法的根拠と実習地域の特性 ③母子保健に必要な協力体制について（実習場所：鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、飯能市、川越市）①～③の課題を7月21日（火）9:00までに科目責任者のメールボックスに提出する。
 - 3) 提出された事前学習については、実習開始前に返却します。
 - 4) 該当する部分のテキストや統計資料等を用いて予習・復習それぞれ30分以上行うこと。
 - 5) 課題レポートのテーマについては、実習要項を参照してください。

オフィスアワー：実習に関する質問は、実習中にして下さい。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子編：助産学講座9、地域母子保健・国際母子保健、第6版、医学書院。
- (2) 石井邦子、廣間武彦編：助産学講座8、助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期、第6版、医学書院。
- (3) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト、第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会。

参考書：

- (1) 舟島なをみ：看護のための人間発達学、第5版、医学書院 2017。
- (2) 福井トシ子・井本寛子編：新版助産師業務要覧 第4版Ⅰ〔基礎編〕 2025年版、日本看護協会出版会。
- (3) 福井トシ子・井本寛子編：新版助産師業務要覧 第4版Ⅱ〔実践編〕 2025年版、日本看護協会出版会。

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
助産管理実習	9504	実習	後期	必修	1/45	稲井洋子
概要：助産所における助産業務の実際を理解し、経営・マネジメントの実際について学ぶ。						
目的：助産所における助産業務・管理（経営）の実際を学び、助産業務の特性と助産師の法的責任・義務・助産所の役割について理解する。 開業助産師の立場から、女性と家族が健やかな生活を送るための母子保健活動と関係機関との連携について学ぶ。						
到達目標：1. 助産所における助産師活動内容と実践状況について説明できる。 2. 開業助産師の役割・義務・業務の範囲と法的責任について理解し助産・看護を実践できる。 3. 助産師の倫理綱領に基づき、看護・助産ケアが実践できる。 4. 助産管理の視点で開業助産師の法的責任、業務内容、安全管理方法を展望できる。 5. 助産所における助産業務と管理の実際を理解できる。 6. 関連機関との連携による地域母子保健活動の展開を理解できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を実践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：1. 実習記録（80％）※口頭質問等によりその内容を確認することがあります。 2. 実習態度（20％） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・実習態度の総合点をGPA実施規則に則り評価する。 ※実習記録の最終提出期限を守れない場合、成績評価の対象にならず不合格となる。						
主要内容						
1. オリエンテーション 各実習施設のオリエンテーション（施設の概要について） 2. 助産所における助産業務の実際〔*許可を得て可能であれば見学・一部体験させて頂く〕 1) 助産所管理と運営 (1) 経営管理について助産師より説明 (2) 災害対策について聴取もしくは見学 (3) 地域交流 他 2) 妊婦のケア (1) 妊娠期の健康診査 (2) 保健指導の実施 3) 産婦のケア (1) 分娩経過 (2) 分娩介助の見学 4) 褥婦のケア (1) 褥婦の健康診査 (2) 乳房管理 5) 新生児のケア (1) 新生児訪問 (2) 新生児の計測、沐浴 6) 産後ケア						

- (1)アウトリーチ型、デイサービス型、ショートステイ型のケア見学もしくは活動の説明を受ける
- 7)乳幼児のケア
- (1)乳幼児訪問

3. 実習カンファレンス

- 1)助産所経営・マネジメントの実際について
- (1)業務管理 (2)施設管理 (3)人事管理 (4)経営管理など
- 2)助産所で取り扱う妊産褥婦と新生児について
- 3)学生・指導者・教員と共に考察

4. 実習まとめ および 各実習施設の発表

- 1) 各助産所の活動等について実習グループ毎に発表準備をする。
- 実習中に資料準備として、施設内の撮影の許可を貰っておくと良い。
- 対象者が撮影された資料については施設と本人の許可を必ず貰い使用する。
- 2)グループ毎にプレゼンテーションし意見交換
- 3)自己評価表の作成と今後の課題の明確化

履修者へのコメント：

- (1)履修条件なし
- (2)履修にあたっての心構えと要望および課題

①【事前課題】

- ・実習目標に沿って、事前学習したレポートを実習開始前（初日の朝 もしくは 帰校日）に提出する。
- ・実習する助産院の地区の情報、HPを事前に確認して臨んでください。（120分程度）

②該当する部分のテキストを読み、予習して実習に臨んでください。（30分程度）

③体験や実践について参考文献等を活用して振り返り（30分～1時間程度）実習に臨んでください。

(3)質問などの受け付け：

実習期間中、随時 質問を受け付けます。

オフィスアワー：

- (1)実習中に随時、質問を受け付けます。
- (2)時間外の質問は、研究室 22 稲井までお越しください。

教科書：

- (1) 日本助産師会編集・監修：助産所開業マニュアル2021-開設・管理・運営-（2021年版）、日本助産師会出版、2021.
- (2) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、
日本産婦人科学会事務局、2023.
- (3) 我部山キヨ子編：助産学講座10、助産管理 第6版、医学書院.
- (4) 日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン2024、日本助産師会出版、2025.

参考書：

- (1) 我部山キヨ子、安達久美子編：助産学講座1、基礎助産学[1] 助産学概論、第6版、医学書院.
- (2) 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト、第1巻 助産概論・母子保健、日本看護協会出版会.
- (3) 看護行政研究会編：看護六法、令和6年版、新日本法規出版株式会社、2024.

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R8 (2026) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
健康教育実習	9505	実習	後期	選択	1/45	稲井 洋子 北川 典子 岡部 史恵 高橋 紗耶香
概要：健康教育の基礎的な理論をもとに対象にあわせた健康教育の実施を通して、集団指導技術の基礎を身につける。						
目的：1. 集団指導の企画・運営を通して、健康教育の意義を理解する。 2. 集団指導を実施し、効果的な指導方法を学ぶ。						
到達目標：1. 集団指導の理論、原理を理解できる。 2. 対象の特性とニーズに応じた健康教育の企画書を作成できる。 3. 対象に応じた健康教育を実施できる。 4. 助産師として集団指導を実施する意義を明確にすることができる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： <input checked="" type="checkbox"/> 1. 女性の一生と家族の健康を理解できる <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学的思考を持ち総合的に判断できる <input checked="" type="checkbox"/> 3. 専門的な知識・技術・態度を統合して助産・看護を实践できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち行動できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. 助産実践者として自己研鑽できる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 社会情勢の変化を的確にとらえられる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる						
成績評価方法：企画・運営の準備（30%）、健康教育の実際（50%）、学習姿勢（20%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、運営・健康教育の実際・学習姿勢の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
主要内容						
1. オリエンテーション 1) 実施する健康教育の理解 (1) 健康教育の位置づけの把握 (2) 健康教育の目的と目標 (3) 健康教育に参加する対象の把握 (4) 健康教育のスケジュール確認 2. 健康教育の準備 1) 集団指導の見学 2) 指導案の作成・媒体の作成 3) 健康教育リハーサル 3. 健康教育の実施・評価 1) 健康教育の実際 2) 実施後の意見交換と課題検討						
履修者へのコメント (1) 履修条件：「健康教育」の単位が修得できていない場合は、履修をすることはできません。 (2) 履修にあたっての心構えと要望 ① 担当する健康教育に関連する科目の予習と復習をして臨んでください。 ② グループで行う協働学習です。活発に意見交換し企画すること。 ③ 後期の助産学実習期間に他科目と平行して開講する科目となるため、履修生は十分なスケジュール管理を行い臨んでください。 ④ 担当施設の健康教育の一端を担います。途中で履修を辞退することのないようにしてください。 ⑤ 学生らしい態度と配慮をするよう心がけてください。 (3) 詳細は、別紙オリエンテーション用紙を参照してください。						
教科書・参考書： 随時提示する						

学校法人 埼玉医科大学

埼玉医科大学短期大学
2026年度

2026年4月1日発行

埼玉医科大学短期大学
教務委員会

〒 350-0495

埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷3-8

電話 049-276-1513

FAX 049-294-8604